■ USB Mass Storage Driver
■ USB PC Camera Driver
■ FinePixViewer
■ DP Editor
■ Exif Launcher

ソフトウェア取扱ガイド

パソコンでお使いになるには、この説明書をお読みください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この「ソフトウェア取扱ガイド」には、USBを使ったカメラとパソコンの接続、付属のソフトウェアのパソコンへのインストール方法と簡単な使い方およびトラブルシューティングがまとめられています。内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。
なお、FinePixViewerとDP Editorの詳しい使い方については、使用説明書（PDF）をご覧ください。

BL00002-101(1) J

重　要

お客さまへ…ご使用になられる前に必ずお読みください。

ソフトウェアおよび使用説明書についてのご注意

（1）付属のソフトウェアおよび使用説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
（2）付属のソフトウェアは、１台の機器について使用できます。
（3）付属のソフトウェアおよび使用説明書により機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
（4）本製品につきましては万全を期しておりますが、万一製造上の原因による不良品がありましたら、お取り替えいたします。それ以外につきましてはご容赦ください。
（5）スマートメディアに記録されていたデータについての補償は、ご容赦ください。
（6）ソフトウェアおよび使用説明書の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
（7）使用説明書の記載の誤りなどについての補償は、ご容赦ください。

＊パソコンの機種によってはご使用になれない場合があります。

本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。
耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

本書はパーソナルコンピュータ（以下パソコン）とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。

■商標について

● Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
● Macintosh、iMac、MacOS、QuickTime™は、米国Apple Computer, Inc. の登録商標です。
● Adobe Acrobat® Reader™は、Adobe Systems Inc. の登録商標です。
● VideoImpression™は、ArcSoft Inc. の商標です。
● SmartMedia™は、株式会社 東芝の商標です。
● その他の社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

目 次

Windows
Macintosh

表記について

注意	必ず守ってもらいたい重要な注意です。
＊	注意です。
☞	補足説明です。
ヒント	知っておくと便利な事項です。

はじめに

用語の解説

パソコンを使うときに最低限知っておきたいこと、知っておくと便利なことを紹介します。操作の詳細についてはパソコンの使用説明書をご覧ください。

■クリック/ダブルクリック

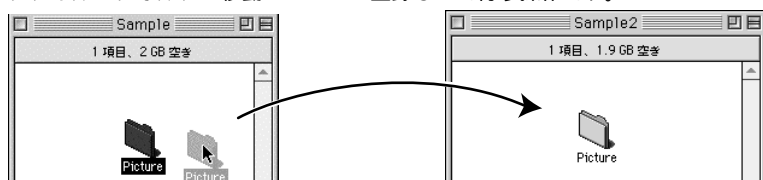
クリック：マウスの左ボタン（Windows）/ボタン（Macintosh）を１回押し、離すことです。

☞ファイル／フォルダ／ウィンドウ／ボタンなどを選択します。

ダブルクリック：マウスの左ボタン（Windows）/ボタン（Macintosh）を続けて２回クリックすることです。

☞ファイル／フォルダなどを開きます。

■ドラッグ＆ドロップ

ファイル・フォルダの移動／コピー／登録などで行う操作です。

ドラッグ

1.マウスポインタを操作したいファイルやフォルダのアイコン上に合わせます。

2.マウスのボタンを押したまま、マウスを動かして移動します。

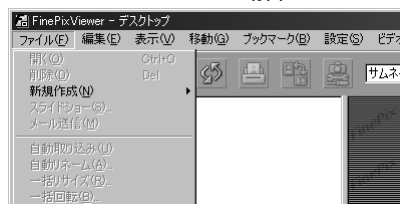
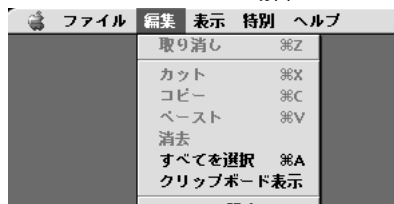
ドロップ

目的の場所でボタンを離します。

■メニュー

画面の一辺に表示される機能の一覧のことです。例として、「ファイル」メニュー、「編集」メニューなどが挙げられます。

メニューをクリックすると実行できる処理が表示され、マウスを動かして選択できるようになります。

＜Windowsの場合＞

＜Macintoshの場合＞

■アプリケーションソフト

ワープロや表計算、画像編集など、ユーザーの目的のために使用するソフトウェアのことです。

■ドライバ

パソコンの周辺機器を動作させるためのソフトウェアのことです。

■ドライブ

パソコンの周辺機器で、ファイルの書き込み/読み出しを行う装置のことです。
特にメディアを挿入して使うものをリムーバブルディスクドライブといいます。
ドライブの例として、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブなどがあります。デジタルカメラもドライブとして扱えます。

Windowsのドライブアイコン

名称未設定　HD　名称未設定　名称未設定

Macintoshのドライブアイコン

■フォルダ

関連のあるファイルなどをまとめておく場所のことです。他のフォルダも入れることができます。

■インストール

ソフトウェアをパソコンに組み込む作業のことです。

■アンインストール

ソフトウェアをパソコンから削除し、設定をインストール前の状態に戻すことです。

■サーバー

インターネットなどのコンピュータネットワークで、接続するユーザーにサービスやデータを提供する、コンピュータのことです。

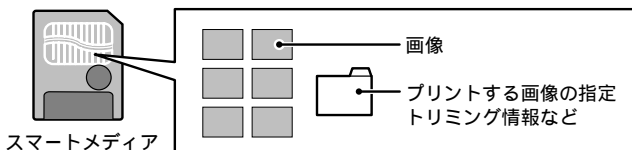
■ブラウザ

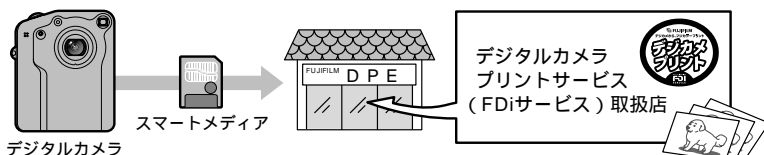
インターネット上のホームページを閲覧するためのソフトウェアのことです。例として、Internet Explorer、Netscape Navigatorなどがあります。

■サムネイル

複数の画像を一覧するときに作成される、縮小した画像のことです。FinePixViewerでは、サムネイルをダブルクリックすると元の画像が表示されます。

■DPOF（ディーポフ）

プリントしたい画像を指定する情報をスマートメディアに記録するためのフォーマットです。

■FDiサービス（エフディーアイサービス）

デジタルカメラで撮影した画像をプリントするサービスです。

＜各ソフトウェアについて＞

デジタルカメラ

※お買いあげいただいたカメラの機種により、イラストと異なる場合があります。

USB接続

カメラのUSBの設定が「カードリーダー」の場合

カメラのUSBの設定が「PCカメラ」の場合

パソコン

マス　ストレージ　ドライバー
Mass Storage Driver

デジタルカメラをUSB Mass Storage（リムーバブルディスクドライブ）として使用できます。

ピーシー　カメラ　ドライバー
PC Camera Driver

デジタルカメラをPCカメラとして使用できます。この機能を持たないカメラもあります。

イグジフ　ランチャ
Exif Launcher

カメラを接続したときFinePixViewerを起動します。

ファインピックスビュアー
FinePixViewer

カメラやパソコン内の画像の一覧表示／プリント／インデックスプリント／画像の表示／簡単な加工ができます。

ディーピー　エディター
DP Editor

デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）またはDPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）対応プリンターを利用してプリントを得る際に必要な、プリントについての情報を作成できます。

アクロバット　リーダー
Acrobat® Reader™

パソコンで、PDF書類を読むためのソフトウェアです。FinePixViewer、VideoImpressionの使用説明書を読むために必要です。

画像ネットサービス

ユーザー登録すると、いろいろなサービスを受けられます。

ユーザー登録するには
　Windowsの方　：34ページ
　Macintoshの方：74ページ
をご覧ください。

送受信：
インターネット経由

ビデオインプレッション
VideoImpression™

動画の取り込みと編集を行います。

ピクチャーハロー
PictureHello

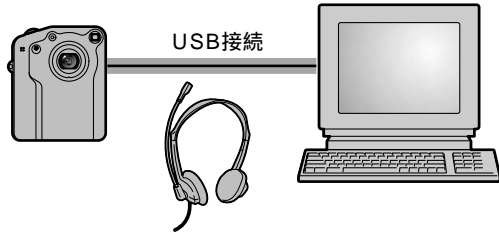
テレビ電話を行います。
（Windows版のみ）

クィックタイム
QuickTime™

動画などを再生するために必要なソフトウェアです。

テレビ電話の相手

ファインピックスビュアー
FinePixViewer

ピクチャーハロー
PictureHello

使用条件

・PCカメラ機能を持つ弊社製カメラを使っていること
・インターネット接続できること
・サウンドカード、マイク、スピーカーが接続されているWindowsパソコンを使っていること

Windowsパソコンにインストールします

インストール前にお確かめください

■動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
インストールを始める前にお確かめください。

対応機種	：DOS/V機(IBM PC/AT互換機)*[1] NEC PC-98-NXシリーズ *[1]
OS	：Windows 98 日本語版（Second Editionを含む） Windows Millennium Edition（Windows Me）日本語版 Windows 2000 Professional 日本語版（インストールするときには、Administratorグループでログインしてください）
CPU	：Pentium 200MHz以上
メモリ	：64MB以上
ハードディスク空き容量	：インストールに必要な容量 …… 140MB以上 動作に必要な容量 ……………… 300MB以上
ディスプレイ	：800×600ドット以上、16ビットカラー以上
対応カメラ	：弊社デジタルカメラでUSBインターフェースを持つもの
インターネット接続*[2]	：通信速度　56kbps以上（推奨）のモデム接続またはISDN接続
サウンド機能*[3]	：スピーカ、マイク、サウンドカード

*[1] USBが標準サポートされ、上記のOSがプリインストールされたモデル。
*[2] 画像ネットサービス、テレビ電話をご利用の際に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。
*[3] USBの設定で「PCカメラ」機能を持つカメラでは、テレビ電話、VideoImpressionのキャプチャ機能をご利用になれます。テレビ電話、VideoImpressionで音声を入出力するには、サウンド機能が必要です。

注意

- パソコンとカメラ（クレードル）は、専用USBケーブルで直接、接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンにUSBポートが2つ以上ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。
- USBコネクタは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。
- Windows 95では使用できません。
- 自作パソコンや、OSをアップデートしたパソコンは、動作保証外です。
- ドライバ（Mass Storage Driver、PC Camera Driver）は、本製品のCD-ROMに付属しているものを使用してください。古いドライバが既にインストールされているときは、それをアンインストールしてから、本製品のCD-ROMに付属しているドライバを再インストールしてください。
- インターネット接続にルータを使用している場合、およびLANを経由（LAN内とLAN外とを接続）している場合は、テレビ電話をご利用できません。
- Windows 98（Second Editionを除く）の場合、Javaランタイムモジュールのインストールが必要です（13ページ参照）。

Windows

付属アプリケーションのインストール

■インストーラーによって、以下のアプリケーションがインストールされます。
FinePixViewer（ファインピックス・ビュアー）
DP Editor（ディーピー・エディター）
Exif Launcher（イグジフ・ランチャ）
QuickTime™（クイックタイム）
VideoImpression™（ビデオインプレッション）
Windows Media Player（ウインドウズ・メディア・プレーヤー）
Acrobat® Reader™（アクロバット・リーダー）
NetMeeting 3.01（ネットミーティング）[Windows 98のみ]

インストールの準備

カメラの使用説明書を用意して、あわせてお読みください

Windows

❶ **パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。**

❷ **タスクバー上からアプリケーションの表示がなくなるまで、他のアプリケーションを終了してください。**

<タスクバー>

終了すべきアプリケーション（表示は実行されているアプリケーションによって異なります。）

①タスクバー上のアプリケーションの表示の上でマウスの右ボタンをクリックします。
②開いたメニューの「閉じる」をクリックします。
＊詳しくは、パソコンの使用説明書、アプリケーションの使用説明書をご覧ください。

❸ **次のアプリケーションがインストールされている場合は、コントロールパネル内の「アプリケーションの追加と削除」を使って、アンインストールしてください（49ページ参照）。**
●Exif Viewer
●Exif Launcher（常駐を終了しないと、アンインストールできません。）
●DP Editor

❹ **同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、インストーラーが自動的に起動します。**
＊インストーラーが自動的に起動しないときは、次ページの「インストーラーを手動で起動するには」を参照してください。

インストーラーを手動で起動するには

❶ **「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして開きます。**

❷ **「マイコンピュータ」ウインドウの「FINEPIX（D:)」をダブルクリックします。**

＊CD-ROMドライブがD:ドライブの場合

❸ **CD-ROMの中の「Setup」または「Setup.exe」をダブルクリックします。**

＊ファイル名の表示方法は、パソコンの設定によって上のように異なる場合があります。
- ・拡張子（ファイルの種類を表す文字）の表示／非表示
- ・アルファベットの表示のしかた（例：Setup／SETUP）

Windows

インストールを開始します

❶ **セットアップ画面が表示されます。**
「FinePixViewerのインストール」ボタンをクリックしてください。

❷ **インストールするアプリケーションの一覧が表示されます。確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。**

❸ **一覧で表示されたアプリケーションごとに、次の手順でインストールします。1つのアプリケーションのインストールが完了すると、自動的に次のインストールが開始されます。**

①注意・警告の確認
インストールするアプリケーションに関する注意・警告が表示されます。確認したら、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

QuickTimeインストール時の注意

・インストール中に表示される「ユーザー登録」画面には、何も入力しなくてもインストールできます。
・「接続速度」画面が表示された場合は、通信環境にあわせて設定し、次に進んでください。

②インストール先の選択
インストール先の選択画面が表示されます。「参照」ボタンをクリックすると、インストール先を変更できます。確認したら、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

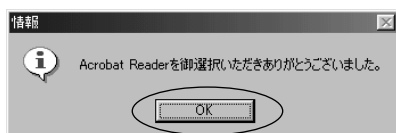
③インストール作業
インストール作業（ファイルのコピー、設定の変更など）が自動的に開始されます。

④インストールの完了
完了すると、確認画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックすると次のインストールに進みます（自動的に①から繰り返します）。

❹ 最後に再起動の確認画面が表示されます。「再起動」ボタンをクリックしてください。

＊再起動しないと、FinePixViewerのインストールは完了しません。

❺ 同様の手順で「Acrobat Reader」をインストールします。

＊FinePixViewerの使用説明書（PDF）を読むためには、Adobe Systems社のAcrobat Readerをインストールする必要があります。
＊Acrobat Readerのインストールでは、再起動の必要はありません。

注意 インストールの途中で「---.dllが見つかりません」などのメッセージが表示された場合には、バックグラウンドで動いている（❶の作業では終了できなかった）アプリケーション（スクリーンセーバーなど）がありますので、プログラムの強制終了を行ってください。強制終了の方法については、Windowsの使用説明書をご覧ください。

Windows98（Second Editionを除く）をお使いの方は

Javaランタイムモジュールのインストールが必要です。
以下の手順でインストールをしてください。

❶ **同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。付属アプリケーションのインストール画面が表示された場合は、「終了」ボタンをクリックして終了させてください。**

❷ **「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMアイコン上で右クリックして「開く」を選択してCD-ROM内を表示します。**

❸ **「JAVAVM」フォルダをダブルクリックし、さらに「WIN98」フォルダをダブルクリックします。**

❹ **「WIN98」フォルダの中にある「msjavx86.exe」をダブルクリックすると、確認画面が表示されます。**

＊ファイル名の表示方法は、パソコンの設定によって異なる場合があります。
・拡張子（ファイルの種類を表す文字）の表示／非表示
・アルファベットの表示のしかた（例：Setup／SETUP）

❺ **「はい」ボタンをクリックするとインストール作業が始まります。最後に再起動の確認画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックし、再起動するとインストールは完了です。**

Windows

Javaについて

Java（ジャバ）とはプログラミング言語の一つです。基本的にはどのようなOSでも動作するため、ネットワーク環境で利用されることがよくあります。
Javaランタイムモジュールをインストールすると、Javaで作成されたアプリケーションの実行環境が、パソコンに構築されます。

使用説明書（PDF）とその読み方

FinePixViewerの使用説明書（PDF）を読むためには、Adobe Systems社のAcrobat Readerをインストールする必要があります。インストール方法については、12ページをご覧ください。

■読み方

❶「スタート」メニュー→「プログラム」→「FinePixViewer」の中にある「Japanese.pdf」をクリックします。

☞Acrobat Readerが起動し、内容を表示します。

❷ 目次またはしおりから、調べたい項目をクリックすると、そのページにジャンプします。

＊しおりを表示するには、「ウィンドウ」メニューの「しおりを表示」をクリックします。詳しくはAcrobat Readerのヘルプメニューの中のオンラインガイドをご参照ください。

Windows

■プリントするには

❶「ファイル」メニューの「用紙設定」をクリックし、用紙サイズや用紙の方向などを設定します。

☞「Japanese.pdf」を原寸でプリントする場合、A4サイズ縦に1ページが収まります。

❷「印刷」ボタンをクリックするか、「ファイル」メニューの「印刷」をクリックします。

❸ 印刷範囲や印刷部数などを指定して、「OK」ボタンをクリックします。

注意
- プリンタやプリンタドライバによって使用できるオプションが異なります。詳しくは、プリンタドライバのマニュアルをご参照ください。
- 詳しくはAcrobat Readerのヘルプメニューの中のオンラインガイドをご参照ください。

Mass Storage Driverのインストール

Mass Storage Driverをインストールすると、カメラで記録したファイルをパソコンに転送できます。

注意 WindowsのCD-ROMが必要となる場合がありますので、あらかじめご用意ください。

❶ **パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。**

❷ **「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして開きます。**

＊インストールがすべて完了すると、新たなリムーバブルディスクアイコン（接続したカメラ）が増えます。

❸ **同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**
付属アプリケーションのインストール画面が表示された場合は、「終了」ボタンをクリックして終了させてください。

❹ **カメラのセッティングを行います。**

USBの設定に「カードリーダー」機能と「PCカメラ」機能を持つカメラをご使用の場合

撮影したスマートメディアをカメラにセットし、USBの設定を「カードリーダー」にセットします。

USBの設定に「カードリーダー」機能のみを持つカメラをご使用の場合

撮影したスマートメディアをカメラにセットします。

注意
- カメラの操作／USBの設定については、カメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。
- スマートメディアは弊社製デジタルカメラで撮影したものをお使いください。
- ご使用中に電源が切れないように、USB接続時にはACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。

❺ **専用USBケーブルを使って、カメラ（クレードル）とパソコン本体のUSBポートを接続し、カメラの電源を入れます。**

❻ **「新しいハードウェア」ダイアログに、USB Mass Storageが検出されたことが表示されます。**

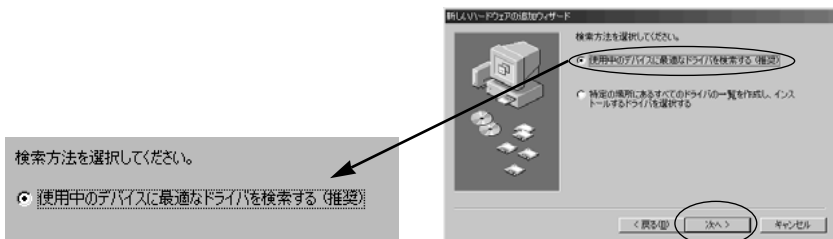
＊Windows Meをお使いの方 ➠ 18ページへ
＊Windows 2000 Professionalをお使いの方 ➠ 19ページへ

Windows

Windows 98/98SEの場合

インストール中に“ FINEPIX ”のラベルの付いたディスクを要求されたときは、トラブルシューティング（53ページ）をご覧ください。

❼「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されますので、「次へ>」ボタンをクリックします。

注意 ダイアログが表示されない場合は、Mass Storage Driverをアンインストールし、再度インストールしなおしてください（15、48ページ参照）。

❽「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックします。

❾ 次の画面が表示されたら、「CD-ROMドライブ」をチェックして、「次へ>」ボタンをクリックします。

＊「CD-ROMドライブ」以外にチェックマークがついていたらチェックマークを外してください。

＊パソコンの種類によっては、表示が多少異なる場合があります。

⑩「USBS04CB.INF」が検出されたのを確認して「次へ>」ボタンをクリックします。

⑪ 次の画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。

⑫「マイコンピュータ」に新たにリムーバブルディスクアイコン（接続したカメラ）が現れたら、インストールは完了です。

Windows

が現れないときは

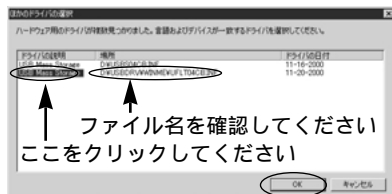
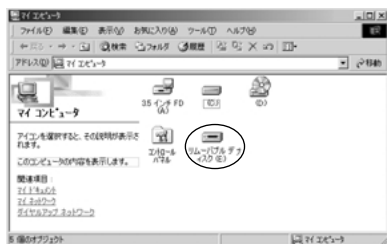
①いったんMass Storage Driverをアンインストールします（48ページ参照）。
②Mass Storage Driverを再度インストールしなおします（15ページ参照）。

Windows Millennium Edition（Windows Me）の場合

❼「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されますので、「次へ>」ボタンをクリックします。

注意
- USB Mass Storageが検出されてから、右のダイアログが表示されるまで数分かかることがあります。
- ダイアログが表示されない場合は、Mass Storage Driverをアンインストールし、再度インストールしなおしてください（15、48ページ参照）。

❽ CD-ROM上の「\USBDRV\WINME\UFLT04CB.INF」に対応する「USB Mass Storage」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

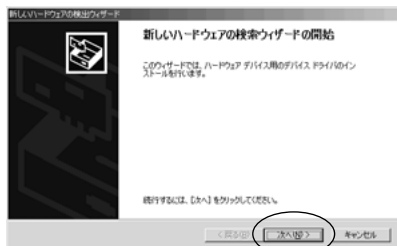
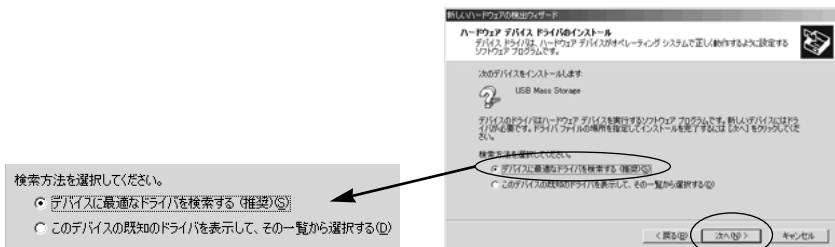
注意 インストール中に、Windows MeのCD-ROMが必要となる場合があります。その時は、画面の指示に従ってCD-ROMを差し替えてください。

❾「完了」ボタンをクリックすると「新しいハードウェア」のダイアログが表示されます。ダイアログが消えるまでお待ちください。

❿「マイコンピュータ」に新たにリムーバブルディスクアイコン（接続したカメラ）が現れたら、インストールは完了です。

が現れないときは

①いったんMass Storage Driverをアンインストールします（48ページ参照）。
②Mass Storage Driverを再度インストールしなおします（15ページ参照）。

Windows 2000 Professionalの場合

❼ **「新しいハードウェアの検索ウィザード」ダイアログが表示されますので、「次へ>」ボタンをクリックします。**

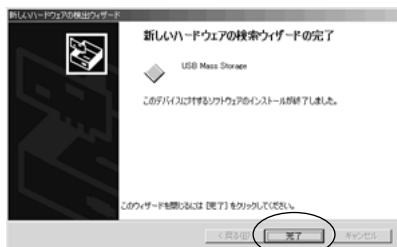
注意 ダイアログが表示されない場合は、Mass Storage Driverをアンインストールし、再度インストールしなおしてください（15、48ページ参照）。

❽ **「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックします。**

❾ **「ドライバファイルの特定」で、「CD-ROMドライブ」にチェックマークをいれて、「次へ>」ボタンをクリックします。**

＊「CD-ROMドライブ」以外にチェックマークがついていたらチェックマークを外してください。

＊パソコンの種類によっては、表示が多少異なる場合があります。

Windows

⑩ 「USBS04CB.INF」が検出されたことを確認したら、「次へ>」ボタンをクリックします。

⑪ 次の画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。

⑫ 「マイコンピュータ」に新たにリムーバブルディスクアイコン（接続したカメラ） が現れたら、インストールは完了です。

が現れないときは

①いったんMass Storage Driverをアンインストールします（48ページ参照）。
②Mass Storage Driverを再度インストールしなおします（15ページ参照）。

PC Camera Driverのインストール

USBの設定に「PCカメラ」機能を持つカメラをご使用の場合、パソコンにPC Camera Driverをインストールすると、カメラからパソコンへライブ画像を送ることができます。

＊実際にライブ画像を見るにはPictureHello（37ページ参照）またはVideoImpression（44ページ参照）を使います。

＊ライブ画像とは、カメラを撮影モードにした時に、液晶モニターにうつる映像のことです。

＊USBの設定に「PCカメラ」機能を持たないカメラをご使用の場合は、ライブ画像を送ることはできません。

注意 WindowsのCD-ROMが必要となる場合がありますので、あらかじめご用意ください。

❶ パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。

＊他の映像入力用機器をパソコンに接続しないでください。

❷ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。付属アプリケーションのインストール画面が表示された場合は、「終了」ボタンをクリックして終了させてください。

❸ カメラのUSBの設定を「PCカメラ」にセットします。

注意
- カメラの操作／USBの設定については、カメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。
- ご使用中に電源が切れないように、USB接続時にはACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。

❹ 専用USBケーブルを使って、カメラ（クレードル）とパソコン本体のUSBポートを接続し、カメラの電源を入れます。

❺ 「新しいハードウェア」ダイアログに、USB PC Cameraが検出されたことが表示されます。

＊Windows Meをお使いの方 ➠ 24ページへ
＊Windows 2000 Professionalをお使いの方 ➠ 25ページへ

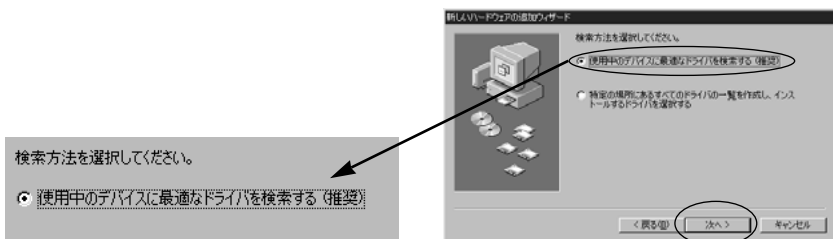
Windows

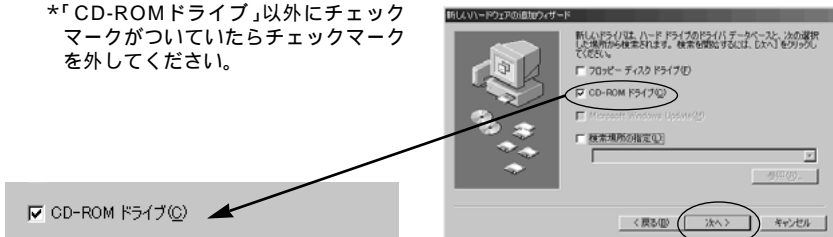
Windows 98/98SEの場合

インストール中に“ FINEPIX ”のラベルの付いたディスクを要求されたときは、トラブルシューティング（53ページ）をご覧ください。

❻「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されますので、「次へ>」ボタンをクリックします。

注意 ダイアログが表示されない場合は、PC Camera Driverをアンインストールし、再度インストールしなおしてください（15、48ページ参照）。

❼「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックします。

❽ 次の画面が表示されたら、「CD-ROMドライブ」をチェックマークをいれて、「次へ>」ボタンをクリックします。

＊「CD-ROMドライブ」以外にチェックマークがついていたらチェックマークを外してください。

＊パソコンの種類によっては、表示が多少異なる場合があります。

❾ 「VC4CB104.INF」が検出されたのを確認して「次へ>」ボタンをクリックします。

注意 インストール中に、Windows 98のCD-ROMが必要となる場合があります。その時は、画面の指示に従ってCD-ROMを差し替えてください。

❿ ドライバのインストールが終了すると、次のような画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。

⓫ FinePixViewerが起動して「PictureHello」ウィンドウが自動的に開きます。「PictureHello」ウィンドウにライブ画像が表示されていることを確認してください。

＊ライブ画像が表示されないときは、インストールが正常に完了していません。トラブルシューティング（58ページ）をご覧ください。

Windows

Windows Millennium Edition（Windows Me）の場合

❻「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されますので、「次へ>」ボタンをクリックします。

注意
- USB PC Cameraが検出されてから、ダイアログが表示されるまで数分かかることがあります。
- ダイアログが表示されない場合は、PC Camera Driverをアンインストールし、再度インストールしなおしてください（15、48ページ参照）。
- インストール中に、Windows MeのCD-ROMが必要となる場合があります。そのときは、画面の指示に従ってCD-ROMを差し替えてください。

❼ドライバのインストールが終了すると、次のような画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。

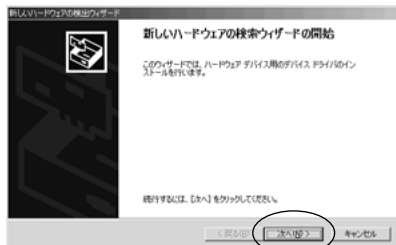
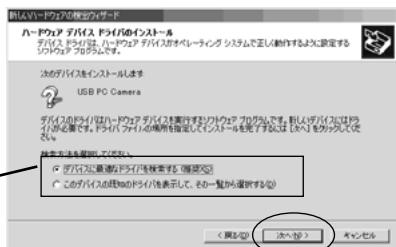
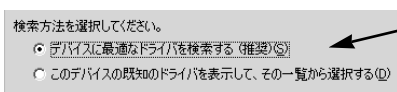
❽FinePixViewerが起動して「PictureHello」ウィンドウが自動的に開きます。「PictureHello」ウィンドウにライブ画像が表示されていることを確認してください。

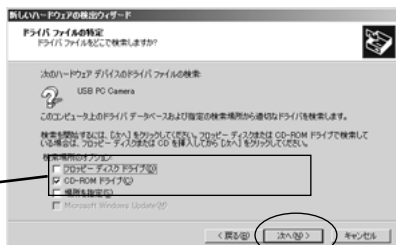
＊ライブ画像が表示されないときは、インストールが正常に完了していません。トラブルシューティング（58ページ）をご覧ください。

Windows

Windows 2000 Professionalの場合

❻「新しいハードウェアの検索ウィザード」ダイアログが表示されますので、「次へ>」ボタンをクリックします。

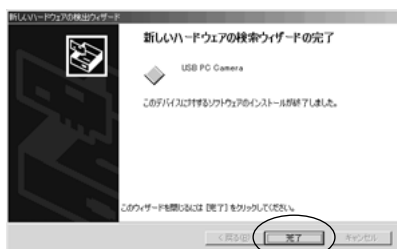
注意 ダイアログが表示されない場合は、PC Camera Driverをアンインストールし、再度インストールしなおしてください（15、48ページ参照）。

❼「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックします。

❽「ドライバファイルの特定」で、「CD-ROMドライブ」をチェックして、「次へ>」ボタンをクリックします。

＊「CD-ROMドライブ」以外にチェックマークがついていたらチェックマークを外してください。

＊パソコンの種類によっては、表示が多少異なる場合があります。

❾「VC4CB104.INF」が検出されたことを確認したら、「次へ>」ボタンをクリックします。

❿「デジタル署名が見つかりませんでした」ダイアログが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

注意 インストール中に、Windows 2000 ProfessionalのCD-ROMが必要となる場合があります。そのときは、画面の指示に従ってCD-ROMを差し替えてください。

⓫ ドライバのインストールが終了すると、次のような画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。

⓬ FinePixViewerが起動して「PictureHello」ウィンドウが自動的に開きます。「PictureHello」ウィンドウにライブ画像が表示されていることを確認してください。

＊ライブ画像が表示されないときは、インストールが正常に完了していません。トラブルシューティング（58ページ）をご覧ください。

Windows

Windowsで使ってみましょう

カメラとパソコンを接続して画像を見る

カメラの使用説明書を用意して、あわせてお読みください

FinePixViewerで画像を見るには

ヒント FinePixViewerとDP Editorの詳しい使用方法については、「スタート」メニュー→「プログラム」→「FinePixViewer」にある「Japanese.pdf」をご覧ください。

注意
- カメラ（リムーバブルディスク）内のファイルを開いているときや、カメラの「アクセス中」表示が出ているときには、以下の操作は行わないでください。スマートメディアまたはスマートメディア内のデータが破壊されることがあります。
  カメラの電源を切る／カメラの操作ボタンに触れる／USBケーブルを抜く／スマートメディアを取り出す／スマートメディアカバーを開ける／カメラの電池を取り出す／カメラをクレードルから取り出す。
- カメラ内のスマートメディアをパソコンでフォーマットしないでください。撮影できなくなることがあります。

❶ パソコンを起動して「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして開きます。

＊Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、通常に使用されているユーザーアカウントでログオンしてください。

❷ カメラのセッティングを行います。

USBの設定に「カードリーダー」機能と「PCカメラ」機能を持つカメラをご使用の場合

撮影したスマートメディアをカメラにセットし、USBの設定を「カードリーダー」にセットします。

USBの設定に「カードリーダー」機能のみを持つカメラをご使用の場合

撮影したスマートメディアをカメラにセットします。

注意
- ご使用中に電源が切れないように、USB接続時にはACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。
- カメラの操作／USBの設定については、カメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。
- スマートメディアは弊社デジタルカメラで撮影したものをお使いください。

❸ **専用USBケーブルを使って、カメラ（クレードル）とパソコン本体のUSBポートを接続し、カメラの電源を入れます。**

☞「マイコンピュータ」の中に、「リムーバブルディスク」アイコンが現れたら、カメラとパソコンは正しく接続されています。

＊お使いのパソコンの画面と図の表示が異なる場合があります。

❹ **FinePixViewerを起動します。**

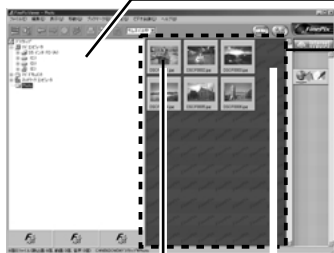
Exif Launcherが動作している場合

カメラ（クレードル）とパソコン本体のUSBポートを接続すると、Exif LauncherがFinePixViewerを起動します。起動するとカメラ内画像を表示します。

＊Exif Launcherの設定を変更した場合は、FinePixViewerは起動しません。

Exif Launcherが動作していない場合

「スタート」メニューの「プログラム」→「FinePixViewer」→「FinePixViewer」を選択し、FinePixViewerを起動します。

注意 FinePixViewerの起動に時間のかかる場合は、トラブルシューティング（55ページ）をご覧ください。

＜FinePixViewer起動画面＞

Exif Launcherについて

・Exif Launcherは、インストールするとスタートアップメニューに登録されるのでWindowsの立ち上げ時に自動的に起動されます。

・タスクバーに図のアイコンが表示されているとき、Exif Launcherは動作しています。

・終了させるには、タスクバー上の「 」アイコン上で右クリックし、「終了」メニューを選択します。

☞終了すると、タスクバー上のアイコンは消えます。

カメラの画像をパソコンに保存するには

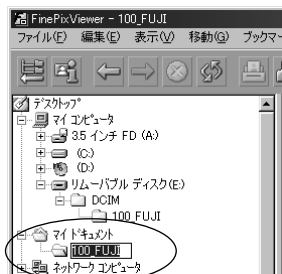
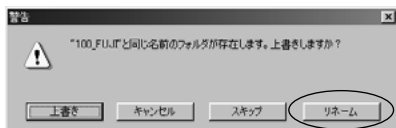
カメラはリムーバブルディスクとして接続されています。スマートメディア内の画像は、リムーバブルディスクの中の「DCIM」フォルダの中のフォルダ(「100_FUJI」など)にあります。

❶ **フォルダツリー表示領域の「100_FUJI」フォルダを「マイドキュメント」にドラッグ＆ドロップします。**

☞コピーが開始されます。

❷ **コピーが終わったら「マイドキュメント」をダブルクリックして開き、その中にコピーされた「100_FUJI」フォルダをクリックします。**

❸ **もう一度「100_FUJI」フォルダをクリックし、名前を変更します。**

ヒント 名前に日付などをいれると、区別しやすくなります。

注意
- スマートメディアの中のフォルダの名前を変更しないでください。変更するとカメラで再生できなくなる場合があります。
- マイドキュメントに既に同じ名前のフォルダがあった場合は、「“ ○○○○○ ”と同じ名前のフォルダが存在します。上書きしますか？」と表示されます。その場合は、「リネーム」ボタンをクリックして新しい名前をつけてから、コピーしてください。

パソコンに保存した画像を確認する

❶ **フォルダツリー表示領域の上でコピーしたフォルダをクリックすると、フォルダ内の画像がサムネイル表示されます。**

❷ **サムネイルをダブルクリックすると、画像ウィンドウが開いて画像が表示されます。**
画像ウィンドウは、右上の ☒ 「クローズ」ボタンをクリックすると閉じます。

Windows

カメラを取り外すには

❶ 「ファイル」メニューから「終了」を選択するか、メインウィンドウの「クローズ」ボタンをクリックして、FinePixViewerを終了します。

❷ カメラの「アクセス中」表示が消えたことを確認します。
Windows 2000 ProfessionalとWindows Meでは「アクセス中」表示が消えた後、タスクバー上の取り外しアイコン「 」をクリックして、「USB Mass Storage」または「USBディスク」を取り外してください。

❸ カメラの電源を切ってからカメラを取り外します。

注意
- 必ずカメラ（リムーバブルディスク）内のファイルをすべて閉じて、「アクセス中」の表示が消えたことを確認してください。
- パソコンの“ コピーしています ”という表示が消えてすぐ、カメラをクレードルから取り外したり、USBケーブルを抜いたり、スマートメディアを取り出したりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- カメラの「アクセス中」の表示については、カメラの使用説明書をご覧ください。
- Windows 2000 ProfessionalとWindows Meで「ハードウェアの取り外し」を行わずにカメラをクレードルから取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に作動しないことがあります。

Windows

FinePixViewerでメールに画像を添付する

FinePixViewerは、簡単な操作でメールに画像を添付することができます。

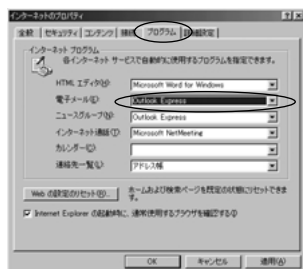
＊Outlook ExpressまたはOutlook２０００を通常使用される場合のみお使いになれます。

Outlook ExpressまたはOutlook２０００の設定方法については、加入しているプロバイダにお問い合わせください。

■確認してください

通常使用するメールソフトとしてOutlook ExpressまたはOutlook２０００が登録されているかを確認します。

❶「コントロールパネル」→「インターネットオプション」をクリックし、「プログラム」をクリックしてください。

❷「電子メール」の欄がOutlook ExpressまたはOutlook２０００になっていることを確認してください。

Windows

Windows９８でOutlook Express ４をお使いのお客様へ

FinePixViewerでメール画像を添付するには、以下の手順に従ってOutlook Expressの設定変更を行ってください。バージョンを確認するには、Outlook Expressの「ヘルプ」メニューから「バージョン情報」をクリックします。

① 現在起動している、Outlook Express以外のメールソフトをすべて終了します。
② Outlook Expressの「ツール」メニューから「オプション」をクリックして「オプションウィンドウ」を開きます。
③「全般」タブをクリックして開き「Outlook Expressを通常使う電子メールプログラムにする」をクリックしてチェックマークを入れます。
④「Outlook Expressを標準の簡易MAPIクライアントにする」をクリックしてチェックマークを入れます。設定変更の確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。
⑤「OK」をクリックして「オプション」ウィンドウを閉じると、以下のメッセージが表示されますので「OK」をクリックしてください。

「簡易MAPIクライアントが変更されています。コンピュータを再起動する必要がある場合があります。」

⑥ Outlook Expressを終了し、パソコンを再起動してください。

■画像を添付する

❶「スタート」メニュー→「プログラム」→「FinePixViewer」→「FinePixViewer」をクリックし、FinePixViewerを起動します。

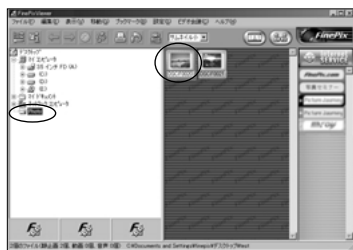
❷ 画像の入っているフォルダをクリックします。

❸ 添付する画像のサムネイルをクリックして画像を選びます。

＊一度に送信できる画像は10枚までです。

❹ サムネイルを選んだまま、「ファイル」メニューの「メール送信」をクリックします。

＊一度に送信できる画像のデータ容量の合計は1MBまでです。
合計容量が1MBより大きい場合は、「メールの送信」をクリックすると警告が表示されます。その場合は警告が出なくなるまで画像を減らしてください。

Windows

❺ **Outlook ExpressまたはOutlook2000のメール送信ウインドウが開き、画像が自動的に添付されます。宛先とタイトル、本文を記入してからメールソフトの送信方法に従って送信してください。**

注意 メールの送信が完了するまでFinePixViewerを終了させないでください。画像を添付したメールが送信できなくなります。

■添付画像のファイル容量を設定するには

FinePixViewerはメール添付の際に、「メール送信設定」に従って画像のファイル容量を調節します。
インストール直後は、メール送信に適した容量になるようにあらかじめ設定されていますが、別の設定にすることも可能です。

＊画像を処理する際、オリジナルの画像は変更されません。

❶ **「設定」メニュー→「メール送信設定」をクリックします。**

❷ **「リサイズ」にチェックマークを入れ、変更後のピクセル数(縦横の寸法)を設定します。**

❸ **「ファイル形式変換」にチェックを入れ、変更後のファイル形式(圧縮率)を設定します。**

ヒント 何も処理しない場合は、「リサイズ」と「ファイル形式変換」の両方のチェックマークを外してください。

Windows

画像ネットサービスを利用する

FinePixViewerを使うと、インターネットを介して画像ネットサービスを利用できます。

＊インターネットに接続できる環境が必要です。
＊プロバイダとの接続料金およびプロバイダのアクセスポイントへの電話料金は別途かかります。

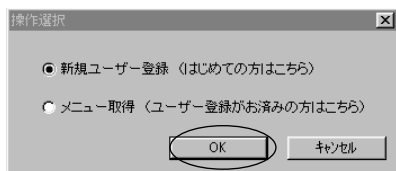
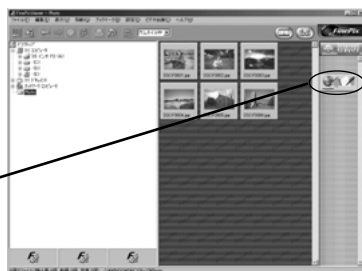
ユーザー登録する

画像ネットサービスを利用するには、ユーザー登録を行う必要があります。

＊ユーザー登録は無料です。

❶「スタート」メニューの「プログラム」→「FinePixViewer」→「FinePixViewer」を選択し、FinePixViewerを起動します。

❷「ユーザー登録」ボタンをクリックすると、「操作選択」ダイアログが表示されます。

＜ユーザー登録ボタン＞

❸「新規ユーザー登録」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

☞インターネット接続していないときは、この時点で回線が接続されます（ダイヤルアップのためのダイアログが表示される場合があります）。
＊メニュー取得は、すでに、ユーザー登録を済ませている場合で、「FinePixViewer」を再インストールしたときなどに選んでください。

❹「ユーザー登録」ダイアログが表示されます。「Japan」を選び、「OK」ボタンをクリックします。ブラウザが起動し、ユーザー登録ページを開きます。そのページでユーザー登録を行ってください。

＊登録後に登録確認メールが送られます。必ず受け取ることができるメールアドレスを正しく半角で記入してください。
＊ユーザー登録の画面は、実際のものと多少異なることがあります。

サービスを利用する

ユーザー登録が完了していれば、画像ネットサービスを利用できます。

■メニューの更新

❶ メニューバーの「表示」の中の「メニュー更新」を選びます。

❷ ユーザー認証ダイアログが表示されます。
ユーザー登録時に設定した、ユーザーIDとパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックすると、インターネットメニューが更新されます。

☞インターネット接続していないときは、自動的に接続を試みます（ダイヤルアップ環境の場合）。

ヒント　インターネットメニューの更新とともに、関連情報ページが表示されることがあります。楽しいお知らせや有効な情報ですので、こまめにインターネットメニューの更新を行うことをおすすめします。

■サービスを選ぶ

❶ 利用したいサービスのメニューボタンをクリックしてください。

☞インターネット接続していないときは、自動的に接続を試みます（ダイヤルアップ環境の場合）。
☞クリックしたあとの動作は、サービスを提供するホームページへジャンプする、アップロードのダイアログを表示するといったように、メニューボタンに応じて異なります。

ヒント　インターネットメニューのボタンにマウスカーソルを合わせると、サービスに関する情報が表示されます。

❷ インターネットサービスを利用し終わったら、接続を終了してください（ダイヤルアップ環境の場合）。

注意　接続速度は電話回線の品質や接続先のサーバーの混み具合などで大幅に変わってきます。

Windows

アップロードについて

アップロードとは、ユーザー向けに公開されているサーバーにインターネット経由でデータを保存することです。
画像ネットサービスのPictureJourney*1やFDiプリントサービス*2などをご利用いただくときは、目的の画像を次の手順でアップロードしてください。

*1対応ブラウザ：Internet Explorer4.0.1以降、Netscape Communicator4.6以降（6.0不可）
*2FDiホームページをご確認ください。

注意 Windows98（Second Editionを除く）をお使いの場合は、Javaランタイムモジュールのインストールが必要です（13ページ参照）。

❶ インターネットメニューのボタンにマウスカーソルを合わせると、サービスに関する情報が表示されます。

❷ 目的のサムネイルをクリックして選択します。

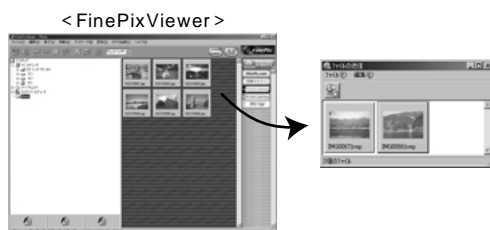
ヒント ctrlキーを押しながらクリックすると、複数選択できます。

❸ サムネイルを選択したままインターネットメニューのボタンをクリックすると、アップロードダイアログが表示されます。

❹ 必要に応じて、画像の追加／削除をおこなってください。

追加する場合

FinePixViewerのサムネイルをアップロードダイアログへドラッグ&ドロップします。

<FinePixViewer>

削除する場合

アップロードダイアログ内の画像を選択し、「ファイル」メニューの「登録解除」をクリックします。

❺ 「送信」ボタンをクリックすると、ブラウザが起動しサービスの画面が表示されます。

■アップロードせず、確認のみ行うには
サムネイルを選択せずにインターネットメニューのボタンをクリックし、画像がない状態で送信ボタンをクリックすると、画像をアップロードせずにサービスの画面が表示されます。

Windows

PictureHelloでテレビ電話をする

■テレビ電話とは

テレビ電話とは、ライブ画像を見ながらリアルタイムに会話ができる通信のことです。ここでは、インターネットに接続した特定のパソコン同士（1対1）での通信を実現する、FinePixViewerのPictureHelloについて説明します。

■テレビ電話をするために必要な機器・条件

●“PCカメラ”機能のある弊社カメラ

●インターネット接続できるWindowsパソコン

☆56kbps以上のモデムまたはISDN
☆プロバイダとの契約が完了していること
＊インターネットの接続状況／モデムの通信速度によっては、映像が劣化したり、コマ落ちする場合があります。

☆パソコンに、スピーカー、マイク、サウンドカードが接続されていること
＊スピーカー・マイク・サウンドカードが接続されていないパソコンでは、画像のみでのご使用となります。
＊快適な会話のために、マイク付きヘッドホンのご使用をおすすめします。
☆インターネット接続にルータを使用している場合、およびLANを経由（LAN内とLAN外とを接続）している場合は、テレビ電話をご利用できません。

●FinePixViewer、NetMeeting 3.01がインストールされていること

●画像ネットサービスのユーザー登録が完了していること

＊FinePixViewerの画面の右側にユーザー登録ボタン が表示されているときは、必ずユーザー登録を行ってください（34ページ参照）。

Windows

テレビ電話のE-Mailアドレスについての注意

ご自分のE-Mailアドレスは大切に管理してください。通話したい人以外に教えると、意図せぬ第三者から不要なテレビ電話をかけられる可能性がありますので、ご注意ください。

■PictureHello各部名称

＊「あなたの画面」を右ボタンでクリックした時に表示されるメニューです。

人物の画像はハメコミ合成です。

名　前	説　明
❶ 接続インジケータ	サーバーへログインしているか表示します。
❷ ログインボタン	サーバーへログインします。
❸ ログアウトボタン	サーバーからログアウトします。
❹ 通話開始ボタン	相手に通話開始を通知します。
❺ 通話切断ボタン	通話をやめます。
❻ クローズボタン	PictureHelloを終了します。
❼ アドレス帳ボタン	アドレス帳を表示します。
❽ アドレス入力フィールド	通話相手を指定します。相手のE-mailアドレスを直接入力することができます。
❾ キャプチャーボタン	通話相手のライブ画像を一旦止めて、静止画として保存します。
❿ 通話相手の情報	アドレス帳の情報と同じものです。
⓫ あなたの情報	画像ネットサービスにユーザー登録したE-mailアドレスです。
⓬ 相手先へのメッセージ	ログイン時に入力したメッセージです。
⓭ 自動応答チェックボックス	自動的に通話を始めたいときチェックマークを入れます。
⓮ 帯域幅（ネットワークの速度）	通話に使用するネットワーク接続の速度を選びます。変更した場合は、FinePixViewerを再起動してください。
⓯「画像の一時停止」	チェックマークを外すと、あなたの画面のライブ画像が動き始めます。ライブ画像が正しく表示されているか確認するときは、チェックマークを外してください（通話中は自動的にチェックマークが外れます）。
⓰「画像の一時停止」「コピー」以外の項目	PictureHelloが、自動的に最適な値を設定します。通常は使用しないでください。

■テレビ電話の準備（電話する双方がおこなってください）

❶ **お互いのE-Mailアドレス（画像ネットサービスのユーザー登録時のもの）を入手し、アドレス帳に登録します（42ページ参照）。**

❷ **カメラのUSBの設定を「PCカメラ」にセットします。専用USBケーブルを使ってカメラとパソコン本体のUSBポートを接続し、電源を入れます。FinePixViewerが起動し、自動的にPictureHelloが開くのを確認してください。**

☞手動でPictureHelloを開くには、FinePixViewerの「テレビ電話」メニューの「ウィンドウを開く」をクリックしてください。

＊パソコンに本機以外の映像入力用機器が接続されている場合は、その映像入力用機器を取り外してから、カメラを接続しなおしてください。
＊PictureHelloとNetMeetingは同時に使用できません。PictureHelloを使うときは、NetMeetingを起動しないでください。
＊カメラの操作／USBの設定については、カメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。

注意
- ライブ画像表示中は、カメラの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。パソコンがハングアップすることがあります。
- テレビ電話をご使用中にカメラの電源が切れないように、ACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。
- PictureHelloが開かない場合には以下の項目を確認してください。
  1. カメラのUSBの設定が「PCカメラ」にセットされていますか
  2. 正しくUSB接続されていますか

  上の2つの項目に当てはまらない場合は、トラブルシューティング（58ページ）をご覧ください。
- ライブ画像が表示されないときは、ライブ画像の表示領域（「あなたの画面」）上で右クリックして、メニューの中の「画像の一時停止」のチェックを外してください（38ページ参照）。

❸ **ログインします。**

インターネットへ自動的に接続するように設定している場合

「ログイン」ボタンをクリックします。

インターネットへ手動で接続するように設定している場合

インターネットに接続してから、「ログイン」ボタンをクリックします。

❹ **メッセージ入力のダイアログが表示されます。通話相手へのメッセージを書き込んで、「OK」ボタンをクリックしてください。**

☞ログインに成功すると、接続インジケータが通信中になります。

注意
- メッセージは暗号化されずに送信されます。重要な情報は書き込まないでください。
- メッセージを変更するには、ログアウトしたのち、再度ログインしなおす必要があります。

Windows

■通話を開始する

❶ 「アドレス帳」ボタンをクリックし、アドレス帳を開きます。

❷ アドレス帳の「ステータス更新」ボタンをクリックし、通話相手の状態を確認してください。通話相手の状態によって通話の手順が違います。

相手が通話できる場合

相手の情報欄をクリックして選び、通話ボタンをクリックします。

☞相手が応じれば通話開始します。

相手が通話できない場合

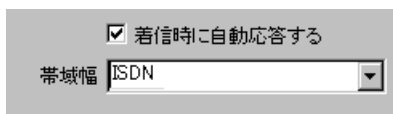
①ログインしたまましばらく待機します。
②「ステータス更新」ボタンをクリックして相手が、ログインしたかを確認します。
③相手が通話できるようになるまで、①〜②を繰り返してください。通話をあきらめる場合は、41ページの「■テレビ電話を終える」をご覧ください。

Windows

■呼び出しがかかったら

確認ダイアログが表示されますので、電話を始める場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

☞「いいえ」ボタンをクリックした場合は、通話は始まりません。呼び出しをかけた側には、「通話先は通話を受け入れませんでした」と表示されます。

ヒント 「着信時に自動応答する」にチェックマークを入れると、確認のダイアログは表示されず、自動的に電話が始まります。

■相手の画像を保存する

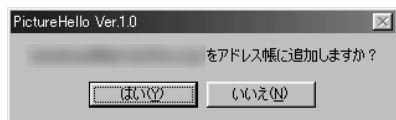
❶ 通話中に 「キャプチャ」ボタンをクリックすると、「通話相手の情報」の画像が更新されます。

❷ **保存先を確認するダイアログが表示されます。「アドレス帳に貼り付け」を選んで「OK」ボタンをクリックすると、アドレス帳の画像が更新されます。**

＊あなたが通話を受けた場合、通話中には「クリップボード」しか選べません。

■通話をやめる

「通話切断」ボタンをクリックします。

ヒント　アドレス帳に未登録の相手にあなたから電話をかけた場合のみ、通話をやめるときに相手の情報を登録するか確認するダイアログが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると、アドレス帳に登録できます。

■テレビ電話を終える

❶ **「ログアウト」ボタンをクリックして、サーバーとの接続を切ります。**

❷ **PictureHelloを終了するには「クローズ」ボタンをクリックします。**

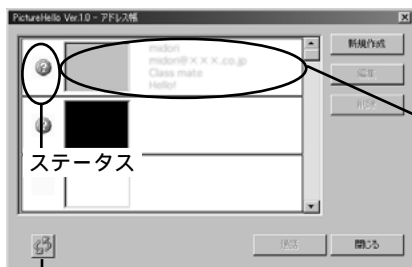
注意　ダイアルアップ接続の場合、ログアウトしてもインターネット接続は切断されません。これ以降インターネットを使用しない場合は手動で切断してください。

Windows

アドレス帳の使い方

アドレス帳を使って、相手のステータス確認と、アドレスの登録ができます。アドレス帳を表示するには、「アドレス帳」ボタンをクリックします。

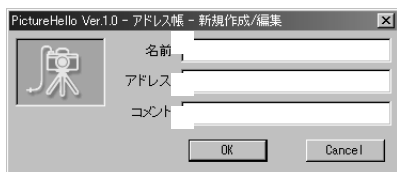
■ステータス確認

「ステータス更新」ボタンをクリックし、最新の状況を確認してください。

①相手の名前
②相手のE-mailアドレス
③コメント（相手には見えません）
④相手がログイン時に書いたメッセージ

「ステータス更新」ボタン

表示	通話の可・不可	相手先の状態
	通話できません	ログインしていません。
	通話できます	ログインしています。
	通話できません	ログインしていますが、通話中です。
	不明です	不明です。「ステータス更新」ボタンをクリックしてください。

■アドレス帳登録

「新規作成」ボタンや「編集」ボタンをクリックすると、アドレスを新規作成または編集できます。各項目を入力／修正して「OK」ボタンをクリックしてください。

①相手の名前
②相手のE-mailアドレス
③コメント（相手には見えません）

カメラのカスタマイズ

カスタマイズ機能のあるカメラでは、画像ネットサービスの「サポート」からダウンロードした専用カスタマイズソフトを使用して、カメラをカスタマイズできます。

❶ **専用カスタマイズソフトを画像ネットサービスの「サポート」から入手し、パソコンにインストールします。**

❷ **「カメラカスタマイズ（カメラの設定）」ボタンをクリックすると、カスタマイズソフトが起動して設定ダイアログを表示します。**

＊インストール方法についてはダウンロードのホームページをご覧ください。
＊パソコンからカメラに転送する方法については、カメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。

Windows

インターネットを利用する際の注意・知っておくと便利なこと

■料金について

インターネットの利用に必要な料金には次のようなものがあります。

通話料金	回線を使う代金として、電話会社に支払います。
接続料金	サーバーへの接続・データの保管（E-mail、ホームページ）の代金として、プロバイダに支払います。

- 通話や接続する時間に応じて料金が変わる場合は、無駄な接続をなくすためにパソコンの自動切断の機能をご利用になることをおすすめします。
- 弊社の画像ネットサービスには、サービス料金が無料のものと有料のものがあります。
- オンラインショッピング／各種サービスを利用した場合は、通話料金・接続料金とは別に、商品料金／サービス料金が請求されます。

■ウイルスについて

パソコンがウイルスに感染すると、大切なデータを破壊したり、アドレス帳に登録されている人に勝手にメールを送りつけたりします。メールの添付ファイルやダウンロードしたファイルで中身のよくわからないものは、ダブルクリックしないでください。

■プライベート情報について

テレビ電話使用時に相手にメッセージをおくる場合、メッセージは暗号化されません。電話番号やクレジットカードの番号などの重要な情報は送らないようにしてください。

VideoImpressionの使い方

VideoImpressionを使うと、オリジナルムービーを作成できます。
VideoImpressionに関するお問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。

主な機能

●静止画や動画、音声を取り込んでムービーを作成し、保存できます。
●画面に文字を加えることや、不要な画像を削除するなど編集ができます。
●場面が切り替わる時のつなぎ目を効果的に処理します（トランジション）。

＊機能と操作方法についてさらに情報を得るには、以下の方法があります。
・同梱のCD-ROMの「Vimpress」→「Manual」にある「Japanese.pdf」を見る。
・画面右下のリンクをクリックしてインターネットで調べる。
・裏表紙に記載されている問い合わせ先に問い合わせる。

Windows

オリジナルムービーの作成

■アルバム登録
静止画や動画、音声を扱うには、まずアルバム画面に取り込んでください。

❶「スタート」メニュー→「プログラム」→「ArcSoft VideoImpression」→「ArcSoft VideoImpression 1.6」をクリックすると、VideoImpressionが起動します。

❷「新規」ボタンを押して、アルバム画面を表示します。

❸ FinePixViewer上のサムネイルをドラッグ&ドロップします。

＜FinePixViewer＞

■ストーリーボードへ追加する
ストーリーボードで、ムービーに使うファイルと、ファイルを再生する順番を決定してゆきます。

画像はここにドロップします

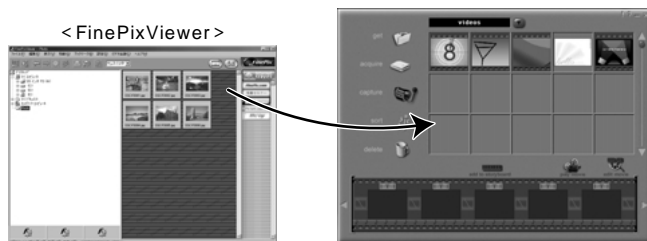
音声はここにドロップします

❶ アルバムからストーリーボードへドラッグ＆ドロップして、ファイルを追加します。

❷ 必要に応じて、ストーリーボードの中でドラッグ＆ドロップして順番を入れ替えます。

■テキストを追加する
❶「編集」ボタンをクリックすると、編集画面に切り換わります。

Windows

❷「テキスト」ボタンをクリックし、文字を入力してください。
☞ドラッグハンドルで位置を調整できます。

❸ 画像の下のボタンで、書体や写し込む時間などを設定してください。

■再生・保存する
❶「ムービーの再生」ボタンをクリックすると、再生画面に切り換わります。

❷「再生」ボタンをクリックして、ムービーを確認してください。

❸「保存」ボタンをクリックすると、保存ダイアログが表示されます。保存先、ファイル名などを指定して保存してください。

ヒント
- ボタンやピクチャの上に、しばらくマウスポインタをおくと、そのボタンやピクチャに関する情報が表示されます。
- どの画面でも、画面右上の「？」をクリックすると、ヘルプを表示できます。
- 「MPEG」などの他に、多数のファイル形式から保存するファイル形式を選べます。

ライブ画像の取り込み

USBの設定に「PCカメラ」機能を持つカメラをご使用の場合はライブ画像の取り込みができます。

＊ご使用中に電源が切れないように、USB接続時にはACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。
＊カメラの操作／USBの設定については、カメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。

❶ USBの設定を「PCカメラ」にセットします。

❷ 専用USBケーブルを使ってカメラ（クレードル）とパソコン本体のUSBポートを接続し、電源を入れます。FinePixViewerが起動した場合は、終了してください。

❸「スタート」メニュー→「プログラム」→「ArcSoft VideoImpression」→「ArcSoft VideoImpression 1.6」をクリックします。

❹ 起動画面が表示されたら、「新規」ボタンをクリックします。

❺ アルバム画面が表示されたら、「キャプチャ」ボタンをクリックします。

❻ **キャプチャ画面に切り換わり、ライブ画像が表示されます。表示されない場合は「ライブ」ボタン（①）をクリックしてください。**

＊記録はまだ始まっていません。

❼ **「ドライブリスト」ボタン（②）で「USB PC Camera」を選択してください。**

❽ **「記録ボタン（③）をクリックすると記録を開始します。**

❾ **もう一度「記録」ボタン（③）をクリックすると記録を終了します。**

＊ファイルに保存されてはいません。

■確認するには

「プレー」ボタン（④）をクリックしてください。

■ファイルに保存してアルバム画面に戻るには

1.「アルバム」ボタンをクリックすると、「保存」ダイアログが表示されます。保存先を指定して「OK」ボタンをクリックしてください。

2.「アルバム登録確認」ダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリックしてください。

注意

- 音声の入出力には、サウンドカード、マイク、スピーカーが必要です。
- 再生や保存にかかる時間は、パソコンの性能に依存します。
- カメラのライブ画像表示中は、以下の操作を行うとパソコンがハングアップする場合があります。トラブルシューティング（61ページ）をご覧ください。
  カメラの電源を切る／カメラの操作ボタンに触れる／USBケーブルを抜く／スマートメディアを取り出す／スマートメディアカバーを開ける／カメラの電池を取り出す／カメラをクレードルから取り出す。

Windowsパソコンでのアンインストール

Windows 98/98SE/Me/2000 Professional共通

■次の場合にドライバのアンインストールを行ってください。

- **Mass Storage Driverをインストールしても、カメラがリムーバブルディスクアイコンとして現れないとき**
- **不要になったドライバを削除したいとき**
- **ドライバのバージョンアップをするとき**
- **ドライバをインストールしても動作しないとき（アンインストール後、再度インストールしなおしてください）**

ドライバのアンインストール

注意
- カメラは取り外しておいてください。
- ドライバを削除する際にはすべてのファイルを閉じてください。

Windows

❶ パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。

❷ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
付属アプリケーションのインストール画面が表示された場合は、「終了」ボタンをクリックして終了させてください。

❸ アンインストーラを起動します。

Mass Storage Driverの場合

「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMアイコン上で右クリックして「開く」を選択してCD-ROM内を表示します。「UNIN_MAS.EXE」をダブルクリックして、インストール済みのドライバを削除します。

PC Camera Driverの場合

「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMアイコン上で右クリックして「開く」を選択してCD-ROM内を表示します。「UNIN_PCC.EXE」ダブルクリックして、インストール済みのドライバを削除します。

＊ファイル名の表示方法は、パソコンの設定によって異なる場合があります。
・拡張子（ファイルの種類を表す文字）の表示／非表示
・アルファベットの表示のしかた（例：Setup／SETUP）

❹ パソコンが再起動したら、アンインストールは完了です。

注意
- カメラは取り外しておいてください。
- ドライバを削除する際にはすべてのファイルを閉じてください。

FinePixViewer、DP Editor、Exif Launcher のアンインストール

コントロールパネル内の「アプリケーションの追加と削除」を使って、アプリケーションソフトを自動的にアンインストールすることができます。

注意
- インストールしたソフトウェアが不要になったり、インストールがうまくいかなかったときのみ行ってください。
- 必ずFinePixViewer、DP Editor、Exif Launcherを終了させてからアンインストールしてください。Exif Launcherの終了方法については28ページの下部を参照してください。
- Exif Launcherを先にアンインストールしてから、FinePixViewerをアンインストールしてください。Exif Launcherのみが残った状態でカメラを接続した場合、トラブルの原因となることがあります。

❶ **パソコンの電源を入れて、システムを起動します。**

❷ **「マイコンピュータ」を開き、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。**

❸ **アンインストールしたいアプリケーションを選択/削除します。**
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されますので、削除したいソフトウェア(FinePixViewer、Exif LauncherまたはDP Editor)を選択して、「追加と削除」ボタンをクリックします。

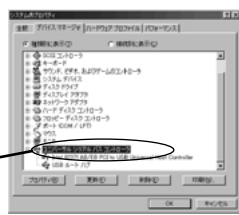
❹ **削除を確認します。**
確認画面が表示されます。実行すると取り消すことはできないので、慎重に行ってください。

❺ **自動的にアンインストール作業が開始されます。**
アンインストール作業が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

Windows

トラブルシューティング

正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（8ページ参照）。
動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は次の表を見て、症状に対応するページを見て対処してください。

Windows

分類	症　状	ページ
インストール	カメラをパソコンに接続しても、Mass Storage Driverのインストールが始まりません。	51
	カメラをパソコンに接続しても、PC Camera Driverのインストールが始まりません。	52
	Mass Storage Driverのインストール中に“ FINEPIX ”のラベルの付いたCD-ROMが要求されました。	53
	PC Camera Driverのインストール中に“ FINEPIX ”のラベルの付いたCD-ROMが要求されました。	
	ドライバインストール中に“ WINDOWS ”のラベルの付いたディスクを要求されました。	
接続・画像閲覧	カメラをパソコンに接続したとき、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されました。	54
	リムーバブルドライブ・アイコンをダブルクリックすると「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」の警告が表示されました。	
	カメラからスマートメディアを取り出したときに警告メッセージが表示されました。	
	専用USBケーブルを抜いたとき、「デバイスの取り外しの警告」が表示されました。	
	専用USBケーブルを抜いたときや、リムーバブルドライブ・アイコンをダブルクリックしたときに、メッセージが表示されて開けません。	55
	FinePixViewerが自動起動するまで時間が掛かります。	
	FinePixViewerが自動的に起動するのを止めたいのですが。	
	カメラをパソコンに接続しても、リムーバブルドライブ・アイコンを表示しません。	56
	スマートメディアのアクセスの際、パソコンがハングアップします。	57
テレビ電話	PictureHello（テレビ電話）が開きません。	58
	PictureHello（テレビ電話）に自分の映像が表示されません。	
	PictureHello（テレビ電話）のログインボタンをクリックしてもログインできません。	59
	テレビ電話で相手のライブ画像がぎくしゃくしています。	
	テレビ電話で相手のライブ画像が表示されません。	
	テレビ電話の通話呼び出しが表示されません。	
	通話呼び出ししても、テレビ電話ができません。	60
	テレビ電話で相手の声が聞こえません／自分の声が相手に届きません。	
その他	VideoImpressionのキャプチャ画面にライブ画像が表示されません。	61
	「画像ネットサービス」にログインできません。	62
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。	
	パソコンが正常終了しません。	
	カメラ画像がファイルを再生できなくなりました。	
	Windows Media PlayerでAVIファイルが再生できません。	
	インターネットメニューがうまく更新できません（ボタンがきれいにならびません）。	

インストールに関するトラブルシューティング

■カメラをパソコンに接続しても、Mass Storage Driverのインストールが始まりません。

確認してください	こうしてください
カメラ（クレードル）の電源は入っていますか？	カメラの電源をONにしてください。クレードルをご使用の場合は、クレードルにＡＣパワーアダプターを接続し、「⏻」ボタンを押してください。詳しくはカメラの使用説明書をご 覧ください。
カメラのUSBの設定は「カードリーダー」ですか？	カメラのＵＳＢの設定を「カードリーダー」に切り替えてください。詳しくはカメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。
専用USBケーブルはカメラ（クレードル）とパソコン本体に接続されていますか？	専用USBケーブルの一端がカメラ（クレードル）に、もう一端がパソコン本体に接続されているか確認してください。
対応したOSをお使いですか？	Mass Storage Driverは、Windows98/98SE/Me/2000 Professionalでお使いください。
Windows 2000 Professionalの場合、Administratorグループでログインしていますか？	Administratorグループとしてログインしてください。Administratorについて詳しくはパソコンの使用説明書をご覧ください。
デバイスマネージャの「その他のデバイス」に「USB Mass Storage」が表示されていませんか？	ドライバが正しくインストールされていません。ドライバをアンインストール後（48ページ参照）、再度インストールしなおしてください。
USB機能は有効になっていますか？ コントロールパネルの「システム」をダブルクリックして、デバイスマネージャを選択し、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」をご確認ください。	●「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」が表示されていないとき、USB機能は無効に設定されています。詳しくはパソコンの使用説明書をご覧の上、有効に設定してください。 ●黄色い「！」や赤い「×」マークが付いていたら、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの使用説明書をご覧の上、有効に設定してください。
旧バージョンのMass Storage Driverがインストールされていませんか？	同梱のCD-ROMを使って旧バージョンのMass Storage Driverをアンインストールし、CD-ROMに付属しているMass Storage Driverをインストールしてください。

■カメラをパソコンに接続しても、PC Camera Driverのインストールが始まりません。

確認してください	こうしてください
カメラ（クレードル）の電源は入っていますか？	カメラの電源をONにしてください。クレードルをご使用の場合は、クレードルにＡＣパワーアダプターを接続し、「⏻」ボタンを押してください。詳しくはカメラの使用説明書をご 覧ください。
カメラのＵＳＢの設定は「ＰＣカメラ」ですか？	カメラのＵＳＢ設定を「PCカメラ」に切り替えてください。詳しくはカメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。
専用USBケーブルはカメラ（クレードル）とパソコン本体に接続されていますか？	専用USBケーブルの一端がカメラ（クレードル）に、もう一端がパソコン本体に接続されているか確認してください。
対応したOSをお使いですか？	PC Camera Driverは、Windows 98/98SE/Me/2000 Professionalでお使いください。
Windows 2000 Professionalの場合、Administratorグループでログインしていますか？	Administratorグループとしてログインしてください。Administratorについて詳しくはパソコンの使用説明書をご覧ください。
デバイスマネージャの「その他のデバイス」に「PC Camera Driver」が表示されていませんか？	ドライバが正しくインストールされていません。ドライバをアンインストール後（48ページ参照）、再度インストールしなおしてください。
USB機能は有効になっていますか？コントロールパネルの「システム」をダブルクリックして、デバイスマネージャを選択し、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」をご確認ください。	●「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」が表示されていないとき、USB機能は無効に設定されています。詳しくはパソコンの使用説明書をご覧の上、有効に設定してください。 ●黄色い「！」や赤い「×」マークが付いていたら、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの使用説明書をご覧の上、有効に設定してください。
旧バージョンのPC Camera Driverがインストールされていませんか？	同梱のCD-ROMを使って旧バージョンのPC Camera Driverをアンインストールし、CD-ROMに付属しているPC Camera Driverをインストールしてください。

■Mass Storage Driverのインストール中に“ FINEPIX ”のラベルの付いたCD-ROMが要求されました。

こうしてください

①「ファイルのコピー」ダイアログで「参照」ボタンをクリックします。
②現れたダイアログのドライブの表示窓でCD-ROMアイコンを選択して「OK」ボタンをクリックします。
③「ファイルのコピー」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックするとドライバがインストールされますので、「完了」ボタンをクリックしてください。

OSの種別	フォルダ名
Windows98	D:\
WindowsMe	D:\Usbdrv\Winme
Windows 2000 Professional	D:\

＊CD-ROMドライブがD:ドライブの場合

■PC Camera Driverのインストール中に“ FINEPIX ”のラベルの付いたCD-ROMが要求されました。

こうしてください

①「ファイルのコピー」ダイアログで「参照」ボタンをクリックします。
②現れたダイアログのドライブの表示窓でCD-ROMアイコンを選択して「OK」ボタンをクリックします。
③「ファイルのコピー」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックするとドライバがインストールされますので、「完了」ボタンをクリックしてください。

■ドライバインストール中に“ WINDOWS ”のラベルの付いたディスクを要求されました。

こうしてください

①CD-ROMをWindowsのCD-ROMに入替えます。
②「ファイルのコピー」ダイアログで「参照」ボタンをクリックします
③現れたダイアログのドライブの表示窓でCD-ROMアイコンを選択し、以下の表に従ってフォルダを指定し、「OK」ボタンをクリックします。
④「ファイルのコピー」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックするとドライバがインストールされますので、「完了」ボタンを押してください。

OSの種別	フォルダ名
Windows98	D:\win98
WindowsMe	D:\win9x
Windows 2000 Professional	D:\i386

＊CD-ROMドライブがD:ドライブの場合

注意 パソコンにWindowsのCD-ROMが付属していない場合は、パソコンのメーカーへお問い合わせください。

接続・画像の閲覧に関するトラブルシューティング

Windows

■カメラをパソコンに接続したとき、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されました。

確認してください	こうしてください
ドライバはインストールされていますか？	同梱のCD-ROMでインストールしてください（11ページ参照）。

■リムーバブルドライブ・アイコンをダブルクリックすると「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」の警告が表示されました。

確認してください	こうしてください
カメラにスマートメディアは挿入してありますか？	カメラにスマートメディアを挿入してください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

■カメラからスマートメディアを取り出したときに警告メッセージが表示されました。

確認してください	こうしてください
カメラが「アクセス中」にもかかわらずスマートメディアを取り出しませんでしたか？	この操作により、スマートメディアおよびデータが壊れる可能性があります。必ずカメラ（リムーバブルディスク）内のファイルをすべて閉じて「アクセス中」の表示が消えてからスマートメディアを取り出してください。

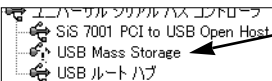
■専用USBケーブルを抜いたとき、「デバイスの取り外しの警告」が表示されました。

確認してください	こうしてください
Windows 2000 ProfessionalやWindows Meをお使いですか？	ケーブルを抜く前にタスクバー上の取り外しアイコン「 」をクリックして、カメラを取り外してください。

■専用USBケーブルを抜いたときや、リムーバブルドライブ・アイコンをダブルクリックしたときに、メッセージが表示されて開けません。

確認してください	こうしてください
他のUSBリムーバブルドライブを接続していますか？	一部のUSBリムーバブルドライブは、他のUSBリムーバブルドライブと同時に使用すると正しく動作しません。USBリムーバブルドライブの接続をすべて外した後にカメラを接続してください。また、一部のUSBストレージ機器には、Exif Launcherが常駐しているとパソコンの動作が不安定になるものがあります。「FinePixViewerが自動的に起動するのを止めたいのですが」（下記）をご覧になりExif Lanucherを外してみてください。

■FinePixViewerが自動起動するまで時間が掛かります。

確認してください	こうしてください
常駐しているアプリケーションが多すぎませんか？	「スタート」ボタンをクリックしてスタートメニューから「プログラム」→「スタートアップ」を選択します。「スタートアップ」の中の使用頻度の低いアプリケーションのショートカットを右クリックします。ポップアップメニューから「削除」をクリックし、削除してから再起動してください。

■FinePixViewerが自動的に起動するのを止めたいのですが。

こうしてください
以下の2種類の方法でFinePixViewerは自動で起動しなくなります。 ●Exif Launcherの設定を変更する ①タスクバーにあるExif Launcherのアイコンを右ボタンでクリックし、ポップアップメニューから「設定」を選択します。 ②「接続時に自動起動する」のチェックを外します。 ＊元に戻す場合は、同様の手順で自動起動にチェックをいれます。 ●Exif Launcherを外す ①タスクバーにあるExif Launcherのアイコンを右ボタンでクリックし、ポップアップメニューから「終了」をクリックします。 ②「スタート」ボタンをクリックしてスタートメニューから「プログラム」→「スタートアップ」→「Exif Launcher」を選択して右ボタンでクリックし、ポップアップメニューから「削除」をクリックします。 ＊元に戻す場合は、Exif Launcherのショートカットをスタートアップに作成します。

■カメラをパソコンに接続しても、リムーバブルドライブ・アイコンを表示しません。

確認してください	こうしてください
カメラ（クレードル）の電源は入っていますか？	クレードルにACパワーアダプターを接続して、電源をONにしてください。カメラにACパワーアダプターを接続している場合には、カメラの電源をONにしてください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。
カメラにスマートメディアは挿入してありますか？	カメラにスマートメディアを挿入してください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。
カメラのUSBの設定は「カードリーダー」ですか？	カメラのUSBの設定を「カードリーダー」に切り替えてください。詳しくはカメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。
専用USBケーブルはカメラ（クレードル）とパソコン本体に正しく接続されていますか？	専用USBケーブルの一端がカメラ（クレードル）に、もう一端がパソコン本体に正しく接続されているか確認してください。
対応したOSをお使いですか？	Mass Storage Driverは、Windows 98/98SE/Me/2000 Professionalでお使いください。
Mass Storage Driverは動作していますか？	コントロールパネル内のシステムをダブルクリックし、デバイスマネージャのタブを選択し、Mass Storage Driverをご確認ください。黄色い「！」や赤い「×」マークが付いていたら、いったんMass Storage Driverをアンインストールし、再インストールしてください（15、48ページ参照）。
Windows 2000 Professionalの場合、Administratorグループでログインしていますか？	Administratorグループとしてログインしてください。Administratorについて詳しくはパソコンの使用説明書をご覧ください。

■スマートメディアのアクセスの際、パソコンがハングアップします。

確認してください	こうしてください
デバイスマネージャを開いたとき「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」（USBコントローラ）の中のドライバに黄色い「！」マークが付いていませんか？	ユニバーサル シリアル バス コントローラ（USBコントローラ）のドライバの動作を妨げているドライバまたはカメラがあります。お使いのパソコンの使用説明書をご覧になり、環境をチェックしてください。
デバイスマネージャを開いたときMass Storage Driverに黄色い「！」マークが付いていませんか？	Mass Storage Driverの動作を妨げているドライバまたはカメラがあります。いったんMass Storage Driverをアンインストールし、再インストールしてください（15、48ページ参照）。
旧バージョンのMass Storage Driverがインストールされていませんか？	同梱のCD-ROMを使って旧バージョンのMass Storage Driverをアンインストールし、CD-ROMに付属しているMass Storage Driverをインストールしてください。

Windows

テレビ電話に関するトラブルシューティング

■PictureHello（テレビ電話）が開きません。

確認してください	こうしてください
FinePixViewerとNetMeeting 3.01がインストールされていますか？	同梱のCD-ROMでインストールしてください（11ページ参照）。
FinePixViewerが起動していますか？	「スタート」メニューの「プログラム」→「FinePixViewer」→「FinePixViewer」をクリックしてください。
カメラ（クレードル）の電源は入っていますか？	カメラの電源をONにしてください。クレードルをご使用の場合は、クレードルにACパワーアダプターを接続し、「⏻」ボタンを押してください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。
カメラのUSBの設定は「PCカメラ」ですか？	カメラのUSBの設定を「PCカメラ」に切り替えてください。詳しくはカメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。
専用USBケーブルはカメラ（クレードル）とパソコン本体に接続されていますか？	専用USBケーブルの一端がパソコン本体に、もう一端がカメラ（クレードル）に接続されているか確認してください。
対応したOSをお使いですか？	Windows 98/98SE/Me/2000 Professionalでお使いください。
PC Camera Driver は動作していますか？	コントロールパネルの「システム」をダブルクリックして、デバイスマネージャをクリックし、「イメージング」または「その他のデバイス」内の「USB PC Camera」をご確認ください。黄色い「！」や赤い「×」マークが付いていたら、PC Camera Driverは動作していません。PC Camera Driverをアンインストール後、再度インストールしてください（21、48ページ参照）。

■PictureHello（テレビ電話）に自分の映像が表示されません。

確認してください	こうしてください
パソコンに他の映像入力用機器が接続されていませんか？	他の映像入力用機器をすべて取り外してください。
他のアプリケーションがカメラのライブ画像を表示していませんか？	ライブ画像を表示している他のアプリケーションを終了させてください。
ライブ画像表示中に専用USBケーブルを抜いたり、カメラ（クレードル）の電源を切ったりしませんでしたか？	PictureHelloを終了してパソコンを再起動してください。カメラとパソコンが正しく接続されているか確認してから、カメラ（クレードル）の電源を入れてください。

Windows

■PictureHello（テレビ電話）のログインボタンをクリックしてもログインできません。

確認してください	こうしてください
インターネット接続できますか？	パソコンの環境をチェックしてください。
「画像ネットサービス」がメンテナンス中ではありませんか？	メンテナンスが終わってからログインしてください。
ユーザー登録は完了していますか？	画像ネットサービスでユーザー登録してください（34ページ参照）。

■テレビ電話で相手のライブ画像がぎくしゃくしています。

こうしてください
56kbps以上の高速回線で接続してください。

■テレビ電話で相手のライブ画像が表示されません。

確認してください	こうしてください
企業内LAN⇔外部で通話しようとしていませんか？	LAN⇔外部での通話はできません。 ダイアルアップ環境でお使いください。
家庭内LAN⇔外部で通話しようとしていませんか？	LAN⇔外部での通話はできません。 ダイアルアップ環境でお使いください。

■テレビ電話の通話呼び出しが表示されません。

確認してください	こうしてください
「着信時に自動応答する」にチェックが入っていませんか？	「着信時に自動応答する」のチェックをはずしてください。
サーバーにログインしていますか？	サーバーにログインしてください。

■通話呼び出ししても、テレビ電話ができません

確認してください	こうしてください
相手が通話可能になっていますか？	アドレス帳を開き、ステータス更新ボタンを押します。相手が通話不可能のときは、後でかけ直してください（40ページ参照）。
企業内LAN⇔外部で通話しようとしていませんか？	LAN⇔外部での通話はできません。 ダイアルアップ環境でお使いください。
家庭内LAN⇔外部で通話しようとしていませんか？	LAN⇔外部での通話はできません。 ダイアルアップ環境でお使いください。

■テレビ電話相手の声が聞こえません／自分の声が相手に届きません。

確認してください	こうしてください
スピーカーが再生可能になっていますか？	あなたと相手の双方で、以下の手順で確認してください。 ①スピーカーとパソコンが正しく接続されているか、確認してください。 ②「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「ボリュームコントロール」をクリックし、ボリュームを調節してください。
マイクが正常に動作していますか？	あなたと相手の双方で、以下の手順で確認してください。 ①マイクとパソコンが正しく接続されているか、確認してください。 ②「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「サウンドレコーダー」をクリックし、マイクの入力レベルを調節してください。

その他のトラブルシューティング

■VideoImpressionのキャプチャ画面にライブ画像が表示されません。

確認してください	こうしてください
Microsoft MediaPlayerがインストールされていますか？	同梱のCD-ROMでインストールしてください（11ページ参照）。
カメラ（クレードル）の電源は入っていますか？	カメラの電源をONにしてください。クレードルをご使用の場合は、クレードルにＡＣパワーアダプターを接続し、「⏻」ボタンを押してください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。
カメラのUSBの設定は「PCカメラ」ですか？	カメラのUSBの設定を「PCカメラ」に切り替えてください。詳しくはカメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。
専用USBケーブルはカメラ（クレードル）とパソコン本体に接続されていますか？	専用USBケーブルの一端がカメラ（クレードル）に、もう一端がパソコン本体に接続されているか確認してください。
対応したOSをお使いですか？	Windows 98/98SE/Me/2000 Professionalでお使いください。
PC Camera Driver は動作していますか？	コントロールパネルの「システム」をダブルクリックして、デバイスマネージャを選択し、「イメージング」または「その他のデバイス」内の「USB PC Camera」をご確認ください。黄色い「！」や赤い「×」マークが付いていたら、PC Camera Driverは動作していません。PC Camera Driverをアンインストール後、再度インストールしてください（15、48ページ参照）。
他の映像入力用機器が選択されていませんか？	「USB PC Camera」を選択してください。映像入力用機器の選択方法はVideoImpressionの説明書をご覧ください。
他のアプリケーションがライブ画像を表示していませんか？	他のライブ画像を表示しているアプリケーションを終了させてください。
ライブ画像表示中にUSBケーブルを抜いたり、カメラ（クレードル）の電源を切ったりしませんでしたか？	VideoImpressionを終了してパソコンを再起動してください。カメラとパソコンが正しく接続されているか確認してから、カメラ（クレードル）の電源を入れてください。

■「画像ネットサービス」にログインできません。

確認してください	こうしてください
インターネット接続できますか？	パソコンの環境をチェックしてください。
「画像ネットサービス」がメンテナンス中ではありませんか？	メンテナンスが終わってからログインしてください。
ユーザー登録は完了していますか？	FinePixViewerのユーザー登録ボタンをクリックして、「画像ネットサービス」にユーザー登録してください（34ページ参照）。

■「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。

確認してください	こうしてください
同じメールアドレスですでに登録していませんか？	同じユーザーIDあるいはメールアドレスで2回登録することはできません。

■パソコンが正常終了しません。

こうしてください
パソコンとカメラの接続を手順に従って外してからWindowsを終了させてください。

☞パソコンの機種によっては、カメラを接続したままでは正常終了しない場合があります。

■カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。

確認してください	こうしてください
「DCIM」フォルダの中のフォルダの名前やファイル名を変更していませんか？	「DCIM」フォルダの中のフォルダの名前やファイル名をもとに戻してください。
「DCIM」フォルダの中の画像ファイルを上書きしていませんか？	「DCIM」フォルダの中の画像ファイルは上書きしないでください。

■WindowsMediaPlayerでAVIファイルを再生できません。

こうしてください
DirectX 8.0をインストールしてください。Microsoft社のホームページや雑誌添付のCD-ROMなどから入手できます。

■インターネットメニューがうまく更新できません（ボタンがきれいにならびません）。

こうしてください
メニューのデータが破損しています。以下の手順でメニューを更新してください。 ①FinePixViewerを終了します。 ②「スタート」メニュー→「プログラム」→「FinePixViewer」→「FinePixViewer」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。 ③「リンク先を探す」ボタンをクリックすると、インストールしたフォルダが表示されます。 ④インストールしたフォルダにある「FinePixInternetFiles」フォルダを削除します。 ⑤FinePixViewerを起動して、「更新」ボタンをクリックしてください。

Windows

Macintoshにインストールします

インストール前にお確かめください

■動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
インストールを始める前にお確かめください。

対応機種	：Power Macintosh G3*[1]、PowerBook G3*[1]、 Power Macintosh G4、iMac、iBook、 Power Macintosh G4 Cube PowerBook G4
OS	：MacOS8.6〜9.1（日本語版のみ）
メモリ	：64MB以上*[2]
ディスプレイ	：800×600ドット以上、約32000色以上
ハードディスク空き容量	：インストールに必要な容量 …… 70MB以上 動作に必要な容量 …………… 300MB以上
対応カメラ	：弊社デジタルカメラでUSBインターフェースを持つもの
インターネット接続*[3]	：通信速度　56kbps以上（推奨）のモデム接続またはISDN接続
サウンド機能*[4]	：スピーカ、マイク、サウンドカード

＊[1] USBポートが標準装備されている機種
＊[2] 必要に応じて仮想メモリをONにしてください。
＊[3] 画像ネットサービスを使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、インストールは可能です。
＊[4] VideoImpressionで音声を入出力するには、サウンド機能が必要です。

注意

- Macintoshとカメラ（クレードル）は、専用USBケーブルで直接、接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- USBコネクタは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。
- ドライバ（Mass Storage Driver、PC Camera Driver）は、本製品のCD-ROMに付属しているものを使用してください。古いドライバが既にインストールされているときは、それをアンインストールしてから、本製品のCD-ROMに付属しているドライバを再インストールしてください。
- Mac OS Xには対応しておりません。
- MacOS8.5以前のOSからアップデータによりバージョンアップしたMacOS8.6をお使いの場合、またはシステムフォルダの機能拡張フォルダ内に「MRJ Libraries」フォルダがない場合は、Javaランタイムモジュールのインストールが必要です。

Macintosh

ソフトウェアのインストール

インストールのまえに

❶ **Macintoshの電源を入れて、MacOSを起動します。**

❷ **File Exchangeが有効かチェックしましょう。**
カメラに対応したスマートメディアをお使いいただくには、MacOS付属の「File Exchange」が動作している必要があります。コントロールパネルの機能拡張マネージャを選択して、File Exchangeのチェックボックスを確認してください。「×」マークが付いていなければ、「×」マークを付けてMacintoshを再起動してください。

■インストーラーによって、以下のアプリケーションがインストールされます。
FinePixViewer（ファインピックス・ビュアー）
DP Editor（ディーピー・エディター）
Exif Launcher（イグジフ・ランチャ）
VideoImpression™（ビデオインプレッション）
QuickTime™（クイックタイム）
Acrobat® Reader™（アクロバット・リーダー）

＊アプリケーションがインストールされると、機能拡張フォルダに以下のファイルもインストールされます。
“USB04CB_StorageShim”／“USB04CB_StorageDriver”／“USB04CB_VcShim”／“USB04CB_VcDriver”

Macintosh

インストールの手順

❶ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると「FinePix」ボリュームが自動で開いて「Installer」が現れます。

注意 FinePixボリュームが自動で開かないときはダブルクリックして開いてください。

❷ 「Installer」をダブルクリックして起動します。

❸ インストーラーのセットアップ画面が表示されます。
「FinePixViewerのインストール」ボタンをクリックしてください。

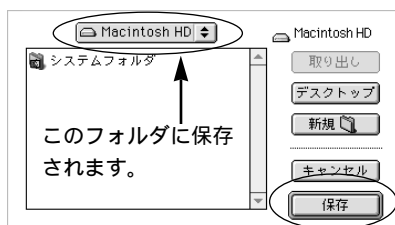
❹ インストールするアプリケーションの一覧が表示されます。確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

❺ 画面の指示に従ってインストールを進めます。

＊インストール先を指定する方法については次ページの「インストール先を選択するには」をご覧ください。

Macintosh

■インストール先を選択するには

①「開く」ボタンをクリックして、インストール先のフォルダを開きます。

②「保存」ボタンをクリックします。

❻ 同様の手順で「Acrobat Reader」をインストールします。

＊FinePixViewerの使用説明書（PDF）を読むためには、Adobe Systems社のAcrobat Readerをインストールする必要があります。

Macintosh

QuickTimeインストール時の注意

・インストール中に表示される「ユーザー登録」画面には、何も入力しなくてもインストールできます。
・「接続速度」画面が表示された場合は、通信環境にあわせて設定し、次に進んでください。

Javaランタイムモジュールのインストール

MacOS8.5以前のOSからアップデータによりバージョンアップしたMacOS8.6をお使いの場合、またはシステムフォルダの機能拡張フォルダ内に「MRJ Libraries」フォルダがない場合は、Javaランタイムモジュールのインストールが必要です。

❶ MacOSのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。CD-ROMアイコンがデスクトップに表示されたら、ダブルクリックしてCD-ROM内を表示します。

❷「ソフトウェアインストール」フォルダをダブルクリックし、さらに「MRJ Install」フォルダをダブルクリックします。

❸「MRJ Install」フォルダの中にある「インストーラ」をダブルクリックするとインストール作業が始まります。

❹ 最後に再起動の確認画面が表示されます。「OK」をクリックし、再起動するとインストールは完了です。

＊最新版は、Apple社のサイトhttp://www.apple.co.jp/java/index.htmlからダウンロードできます。(2001年1月現在)

Macintosh

Javaについて

Java（ジャバ）とはプログラミング言語の一つです。基本的にはどのようなOSでも動作するため、ネットワーク環境で利用されることがよくあります。
Javaランタイムモジュールをインストールすると、Javaで作成されたアプリケーションの実行環境が、パソコンに構築されます。

使用説明書（PDF）とその読み方

FinePixViewerの使用説明書（PDF）を読むためには、Adobe Systems社のAcrobat Readerをインストールする必要があります。インストール方法については、66ページをご覧ください。

■読み方

❶ FinePixViewerをインストールしたフォルダにある「Japanese.pdf」をダブルクリックします。

☞Acrobat Readerが起動し、内容を表示します。

❷ 目次あるいはしおりから、調べたい項目をクリックすると、そのページにジャンプします。

＊しおりを表示するには、「ウィンドウ」メニューの「しおりを表示」をクリックします。詳しくはAcrobat Readerのヘルプメニューの中のオンラインガイドをご参照ください。

■プリントするには

❶「ファイル」メニューの「用紙設定」をクリックし、用紙サイズや用紙の方向などを設定します。

☞「Japanese.pdf」を原寸でプリントする場合、A4サイズ縦に1ページが収まります。

❷「印刷」ボタンをクリックするか、「ファイル」メニューの「印刷」をクリックします。

❸ 印刷範囲や印刷部数などを指定して、「OK」ボタンをクリックします。

注意
- プリンタやプリンタドライバによって使用できるオプションが異なります。詳しくは、プリンタドライバのマニュアルをご参照ください。
- 詳しくはAcrobat Readerのヘルプメニューの中のオンラインガイドをご参照ください。

Macintoshで使ってみましょう
カメラとパソコンを接続して画像を見る

カメラの使用説明書を用意して、あわせてお読みください

FinePixViewerで画像を見るには

ヒント FinePixViewerとDP Editorの詳しい使用方法については、インストールしたフォルダにある「Japanese.pdf」をご覧ください。

注意
- カメラへのアクセス中には、以下の操作は行わないでください。スマートメディアまたはスマートメディア内のデータが破壊されることがあります。
カメラの電源を切る／カメラの操作ボタンに触れる／USBケーブルを抜く／スマートメディアを取り出す／スマートメディアカバーを開ける／カメラの電池を取り出す／カメラをクレードルから取り外す
- カメラ内のスマートメディアをパソコンでフォーマットしないでください。撮影できなくなることがあります。
- カメラでフォーマットされたスマートメディアを使用し、ハードディスク内のフォルダをスマートメディアの同じ名称のフォルダに上書きする際に、ファイルが破壊される場合があります。スマートメディア内のフォルダを削除するか、フォルダ名称を変更した上でコピーしてください。

❶ Macintoshを起動します。

❷ カメラのセッティングを行います。

USBの設定に「カードリーダー」機能と「PCカメラ」機能を持つカメラをご使用の場合

撮影したスマートメディアをカメラにセットし、USBの設定を「カードリーダー」にセットします。

USBの設定に「カードリーダー」機能のみを持つカメラをご使用の場合

撮影したスマートメディアをカメラにセットします。

注意
- 使っている最中に電源が切れないように、USB接続時にはACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。
- スマートメディアは弊社デジタルカメラで撮影したものをお使いください。

❸ 専用USBケーブルを使って、カメラ（クレードル）とパソコン本体のUSBポートを接続し、電源を入れます。

☞右記の「リムーバブルドライブ」アイコンがデスクトップに表示されれば、カメラとMacintoshは正しく接続されています。

名称未設定

Macintosh

❹ FinePixViewerを起動します。

Exif Launcherが動作している場合

カメラ（クレードル）とパソコン本体のUSBポートを接続すると、Exif LauncherがFinePixViewerを起動します。

＊Exif Launcherの設定を変更した場合は、FinePixViewerは起動しません。

Exif Launcherが動作していない場合

インストールしたフォルダのFinePixViewerのアイコンをダブルクリックします。

Exif Launcherについて

・Exif LauncherはMacintosh起動時に自動的に起動します。
・Exif Launcherを終了させるには、FinePixViewer「設定－Exif Launcher 設定」メニューを選択して、「Exif Launcherを直ちに終了する」を選択してください。

<FinePixViewer起動画面>

サムネイル表示領域

●スマートメディアに記録されたデータのサムネイルや音声アイコンが表示されます。

このように表示されるのは、音声ファイルです。

サムネイル

サムネイルをダブルクリックすると、画像ウィンドウが開いて画像が表示されます。
画像ウィンドウは、左上の クローズ ボックスをクリックすると閉じます。
また、サムネイルを選択して、デスクトップやフォルダにドラッグ＆ドロップすると、画像を保存することができます。

カメラを取り外すには

❶「ファイル」メニューから「終了」を選択するか、クローズボックスをクリックして、FinePixViewerを終了します。

❷ デスクトップ上の「リムーバブルドライブ」アイコンを「ゴミ箱」にドラッグ＆ドロップして捨てるか、アイコンを選択した後、画面最上部のメニューバーの「特別」メニューから「取り出し」を選択してください。

❸ カメラにカード／ケーブルの取り外しOKが表示されたら、カメラを取り外します。

注意 「取り出し」を行わずにスマートメディアを抜いたり、カメラの電源を切った場合、スマートメディアが破壊されたり、Macintoshが正常に作動しないことがあります。

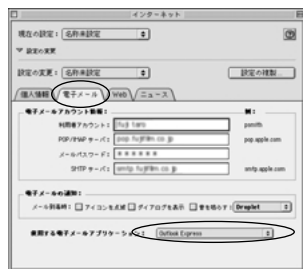
FinePixViewerでメールに画像を添付する

FinePixViewerは、簡単な操作でメールに画像を添付することができます。
＊Outlook Expressを通常使用される場合のみお使いになれます。

Outlook Expressの設定方法については、加入しているプロバイダにお問い合わせください。

■確認してください

通常使用するメールソフトとしてOutlook Expressが登録されているかを確認します。

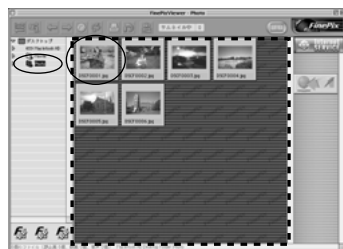
❶「コントロールパネル」→「インターネット」をクリックし、「電子メール」をクリックしてください。

❷「使用する電子メールアプリケーション」が「Outlook Express」になっていることを確認してください。

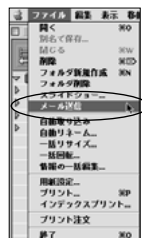
■画像を添付する

❶ インストールしたフォルダの「FinePixViewer」をダブルクリックし、FinePixViewerを起動します。

❷ 画像の入っているフォルダをクリックします。

❸ 添付する画像のサムネイルをクリックして画像を選びます。
＊一度に送信できる画像は10枚までです。

Macintosh

❹ **サムネイルを選んだまま、「ファイル」メニューの「メール送信」をクリックします。**

＊一度に送信できる画像のデータ容量の合計は1MBまでです。
合計容量が1MBより大きい場合は、「メールの送信」をクリックすると警告が表示されます。その場合は警告が出なくなるまで画像を減らしてください。

❺ **Outlook Expressのメール送信ウインドウが開き、画像が自動的に添付されます。宛先とタイトル、本文を記入してからメールソフトの送信方法に従って送信してください。**

注意 メールの送信が完了するまでFinePixViewerを終了させないでください。画像を添付したメールが送信できなくなります。

■添付画像のファイル容量を設定するには
FinePixViewerはメール添付の際に、「メール送信設定」に従って画像のファイル容量を調節します。
インストール直後は、メール送信に適した容量になるようにあらかじめ設定されていますが、別の設定にすることも可能です。
＊画像を処理する際、オリジナルの画像は変更されません。

❶ **「設定」メニュー→「メール送信設定」をクリックします。**

❷ **「リサイズ」にチェックを入れ、変更後のピクセル数（縦横の寸法）を設定します。**

❸ **「ファイル形式変換」にチェックを入れ、変更後のファイル形式（圧縮率）を設定します。**

ヒント 何も処理しない場合は、「リサイズ」と「ファイル形式変換」の両方のチェックを外してください。

Macintosh

画像ネットサービスを利用する

FinePixViewerを使うと、インターネットを介して画像ネットサービスを利用できます。

＊インターネットに接続できる環境が必要です。
＊プロバイダとの接続料金およびプロバイダのアクセスポイントへの電話料金は別途かかります。

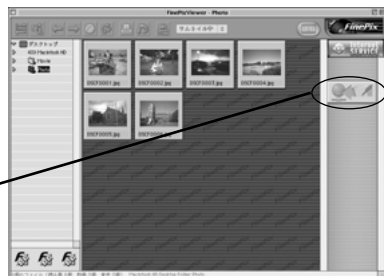
ユーザー登録する

FinePixインターネットサービスを利用するには、ユーザー登録を行う必要があります。

＊ユーザー登録は無料です。

❶ インストールしたフォルダの、FinePixViewerアイコンをダブルクリックします。

❷「ユーザー登録」ボタンをクリックすると、操作選択ダイアログが表示されます。

<ユーザー登録ボタン>

❸「新規ユーザー登録」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

☞インターネット接続していないときは、この時点で回線を接続します（ダイヤルアップのためのダイアログが表示される場合があります）。
＊メニュー取得は、すでにユーザー登録を済ませている場合で、「FinePixViewer」を再インストールしたときなどに選んでください。

❹ ユーザー登録ダイアログが表示されます。「Japan」を選び、「OK」ボタンをクリックします。ブラウザが起動し、ユーザー登録ページを開きます。そのページでユーザー登録を行ってください。

＊登録後に登録確認メールが送られます。必ず受け取ることができるメールアドレスを正しく半角で記入してください。
＊ユーザー登録の画面は、実際のものと多少異なることがあります。

Macintosh

サービスを利用する

ユーザー登録が完了していれば、画像ネットサービスを利用できます。

■メニューの更新

❶ メニューバーの「表示」の中の「メニュー更新」を選びます。

❷ ユーザー認証ダイアログが表示されます。
ユーザー登録時に設定した、ユーザーIDとパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックすると、インターネットメニューが更新されます。

☞インターネット接続していないときは、自動的に接続を試みます（ダイヤルアップ環境の場合）。

ヒント インターネットメニューの更新とともに、関連情報ページが表示されることがあります。楽しいお知らせや有効な情報ですので、こまめにインターネットメニューの更新を行うことをおすすめします。

■サービスを選ぶ

❶ 利用したいサービスのメニューボタンをクリックしてください。

☞インターネット接続していないときは、自動的に接続を試みます（ダイヤルアップ環境の場合）。
☞クリックしたあとの動作は、サービスを提供するホームページへジャンプする、アップロードのダイアログを表示するといったように、メニューボタンに応じて異なります。
＊インターネットメニューの画面は、実際のものと多少異なることがあります。

ヒント インターネットメニューのボタンにマウスカーソルを合わせると、サービスに関する情報が表示されます。

❷ インターネットサービスを利用し終わったら、接続を終了してください（ダイヤルアップ環境の場合）。

注意 接続速度は電話回線の品質や接続先のサーバーの混み具合などで大幅に変わってきます。

アップロードについて

アップロードとは、ユーザー向けに公開されているサーバーにインターネット経由でデータを保存することです。
画像ネットサービスのPictureJourney*[1]やFDiプリントサービス*[2]などをご利用いただくときは、目的の画像を次の手順でアップロードしてください。

*[1]対応ブラウザ：Internet Explorer4.5以降、Netscape Communicator4.7以降（6.0不可）
*[2]FDiホームページをご確認ください。

注意 「画像アップロードモジュールを実行できませんでした。」と表示された場合は「コントロールパネル」→「メモリ」で仮想メモリを増やし、コンピュータを再起動してください。

❶ **インターネットメニューのボタンにマウスカーソルを合わせると、サービスに関する情報（一度にアップロードできる画像枚数等）が表示されます。**

❷ **目的のサムネイルをクリックして選択します。**

ヒント シフトボタンを押しながらクリックすると、複数選択できます。

❸ **サムネイルを選択したままインターネットメニューのボタンをクリックすると、アップロードダイアログが表示されます。**

❹ **必要に応じて、画像の追加／削除をおこなってください。**

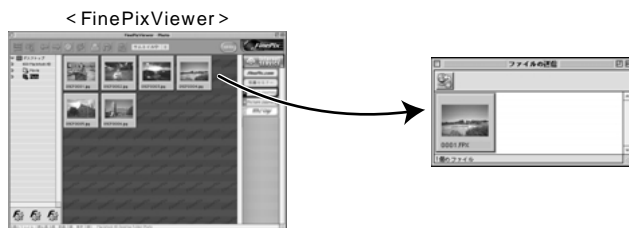
追加する場合

FinePixViewerのサムネイルをアップロードダイアログへドラッグ&ドロップします。

＜FinePixViewer＞

削除する場合

アップロードダイアログ内の画像を選択し、「ファイル」メニューの「登録解除」をクリックします。

Macintosh

❺ 「送信」ボタンをクリックすると、ブラウザが起動しサービスの画面が表示されます。

＊標準で使用するWebブラウザがNetscape社のブラウザに設定されていてInternet Explorerもインストールされている場合は、Internet Explorerが起動されますが、アップロードは正常に行われます。

注意 「通信中に異常が発生したため、処理を中止しました。」と表示された場合は、78ページの「メモリの割り当てを調節する」をご覧ください。

■アップロードせず、確認のみ行うには

サムネイルを選択せずにインターネットメニューのボタンをクリックし、画像がない状態で送信ボタンをクリックすると、画像をアップロードせずにサービスの画面が表示されます。

Macintosh

メモリの割り当てを調節する

アップロード時に「通信中に異常が発生したため、処理を中止しました。」と表示された場合、アップロードする画像の中で最も大きい画像のサイズに応じてアップロードのソフトのメモリサイズを変更します。

最も大きな画像ピクセル数	必要な使用メモリ
1280×1024 ピクセル以内	15000
1800×1200 ピクセル以内	22000
2400×1600 ピクセル以内	35000
3040×2016 ピクセル以内	54000

■割り当てメモリのサイズを決定するには

❶ アップロードする画像のサムネイルをクリックします。

❷ FinePixViewerのウィンドウ最下部の情報表示部のピクセル数を確認し、上の表に従って数値を決定してください。

■メモリ割り当てを変更するには

❶ FinePixViewerをインストールしたフォルダにある「Upload」ファイルを選択します。

❷「ファイル」メニュー→「情報を見る」をクリックすると、「Upload情報」が表示されます。

❸「表示：」ポップアップメニューの中から「メモリ」を選択します。

❹「メモリ必要条件」の「使用サイズ」に、必要な使用メモリを割り当ててください。

Macintosh

カメラのカスタマイズ

カスタマイズ機能のあるカメラでは、画像ネットサービスの「サポート」からダウンロードした専用カスタマイズソフトを使用して、カメラをカスタマイズできます。

❶ 専用カスタマイズソフトを画像ネットサービスの「サポート」から入手し、パソコンにインストールします。

❷「カメラカスタマイズ（カメラの設定）」ボタンをクリックすると、カスタマイズソフトが起動して設定ダイアログを表示します。

＊インストール方法についてはダウンロードのホームページをご覧ください。
＊パソコンからカメラに転送する方法については、カメラの使用説明書「ＰＣ接続編」をご覧ください。

Macintosh

インターネットを利用する際の注意・知っておくと便利なこと

■料金について

インターネットの利用に必要な料金には次のようなものがあります。

通話料金	回線を使う代金として、電話会社に支払います。
接続料金	サーバーへの接続・データの保管（E-mail、ホームページ）の代金として、プロバイダに支払います。

●通話や接続する時間に応じて料金が変わる場合は、無駄な接続をなくすためにパソコンの自動切断の機能をご利用になることをおすすめします。
●弊社の画像ネットサービスには、サービス料金が無料のものと有料のものがあります。
●オンラインショッピング／各種サービスを利用した場合は、通話料金・接続料金とは別に、商品料金／サービス料金が請求されます。

■ウイルスについて

パソコンがウイルスに感染すると、大切なデータを破壊したり、アドレス帳に登録されている人に勝手にメールを送りつけたりします。メールの添付ファイルやダウンロードしたファイルで中身のよくわからないものは、ダブルクリックしないでください。

VideoImpressionの使い方

VideoImpressionを使うと、オリジナルムービーを作成できます。
VideoImpressionに関するお問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。

主な機能

- **●静止画や動画、音声を取り込んでムービーを作成し、保存できます。**
- **●画面に文字を加えることや、不要な画像を削除するなど編集ができます。**
- **●場面が切り替わる時のつなぎ目を効果的に処理します（トランジション）。**

＊機能と操作方法についてさらに情報を得るには、以下の方法があります。
・同梱のCD-ROMの「Vimpress」→「Manual」にある「Japanese.pdf」を見る。
・画面右下のリンクをクリックしてインターネットで調べる。
・裏表紙に記載されている問い合わせ先に問い合わせる。

オリジナルムービーの作成

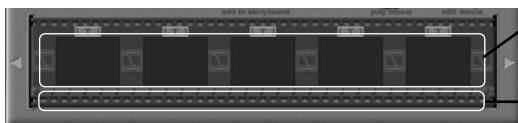
■アルバム登録
静止画や動画、音声を扱うには、まずアルバム画面に取り込んでください。

❶ インストールしたフォルダのVideoImpressionアイコンをダブルクリックすると、VideoImpressionが起動します。

❷「新規」ボタンを押して、アルバム画面を表示します。

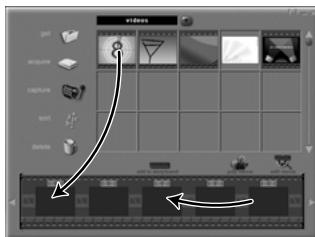
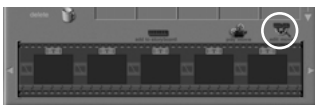
❸ FinePixViewer上のサムネイルをドラッグ&ドロップします。

＜FinePixViewer＞

■ストーリーボードへ追加する
ストーリーボードで、ムービーに使うファイルと、ファイルを再生する順番を決定してゆきます。

画像はここにドロップします

音声 はここにドロップします

❶ アルバムからストーリーボードへドラッグ＆ドロップして、ファイルを追加します。

❷ 必要に応じて、ストーリーボードの中でドラッグ＆ドロップして順番を入れ替えます。

■テキストを追加する
❶「編集」ボタンをクリックすると、編集画面に切り換わります。

❷「テキスト」ボタンをクリックし、文字を入力してください。
☞ドラッグハンドルで位置を調整できます。

❸ 画像の下のボタンで、書体や写し込む時間などを設定してください。

■再生する
❶「ムービーの再生」ボタンをクリックすると、再生画面に切り換わります。

❷「再生」ボタンをクリックして、ムービーを確認してください。

Macintosh

ヒント
● ボタンやピクチャの上に、しばらくマウスポインタをおくと、そのボタンやピクチャに関する情報が表示されます。
● どの画面でも、画面右上の「？」をクリックすると、ヘルプを表示できます。
●「MPEG」などの他に、多数のファイル形式から保存するファイル形式を選べます。

ライブ画像の取り込み

USBの設定に「PCカメラ」機能のあるカメラをご使用の場合はライブ画像の取り込みができます。

❶ USBの設定を「PCカメラ」にセットします。

＊使っている最中に電源が切れないように、USB接続時にはACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。
＊カメラの操作／USBの設定については、カメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。

❷ 専用USBケーブルを使ってカメラ（クレードル）とパソコン本体のUSBポートを接続し、カメラの電源を入れます。

❸ インストールしたフォルダの「VideoImpression」アイコンをダブルクリックします。

❹ 起動画面が表示されたら、「新規」ボタンをクリックを表示します。

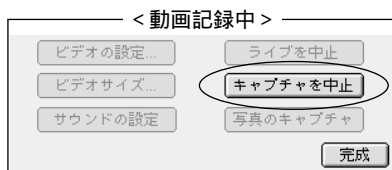
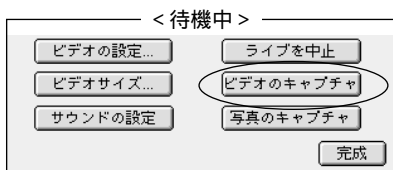
❺ アルバム画面が表示されたら、「キャプチャ」ボタンをクリックします。

Macintosh

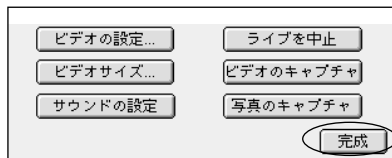
❻ **キャプチャ画面に切り換わり、ライブ画面が表示されます。**

＊記録はまだ始まっていません。

❼ **「ビデオのキャプチャ」ボタンをクリックすると動画の記録を開始します。**

☞ボタンの名前が「キャプチャを中止」となります。記録中は、「キャプチャの中止」ボタンしかクリックできません。

❽ **「キャプチャを中止」ボタンをクリックすると記録を終了します。動画データは自動的にファイルに保存され、アルバムに取り込まれます。**

❾ **「完成」ボタンをクリックすると、アルバム画面に戻ります。**

注意

- 音声の入出力には、サウンドカード、マイク、スピーカーが必要です。
- 再生や保存にかかる時間は、パソコンの性能に依存します。
- カメラのライブ画像表示中は、以下の操作は行わないでください。
  カメラの電源を切る／カメラの操作ボタンに触れる／USBケーブルを抜く／スマートメディアを取り出す／スマートメディアカバーを開ける／カメラの電池を取り出す／カメラをクレードルから取り出す。

Macintoshでのアンインストール

注意 インストールしたソフトウェアが不要になったり、インストールがうまくいかなかったときのみ行ってください。

Mass Storage Driver／PC Camera Driverのアンインストール

デジタルカメラが接続中でないことを確認した後、Macintosh HD（起動ボリューム）のシステムフォルダ内の「機能拡張」フォルダを開き、以下の4つのファイルを「ゴミ箱」に入れてください。
“ USB04CB_StorageShim ”
“ USB04CB_StorageDriver ”
“ USB04CB_VcShim ”
“ USB04CB_VcDriver ”
その後、Macintoshを再起動して、「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」をクリックしてください。

Exif Launcher、FinePixViewer、DP Editor のアンインストール

❶ **FinePixViewerの「設定―Exif Launcher 設定」でExif Launcherを終了した後、システムフォルダ内の「起動項目」フォルダからExif Launcherのファイルを「ゴミ箱」に入れ、「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」をクリックしてください。**

❷ **FinePixViewer、DP Editorを終了した後、FinePixViewer、DP Editorのファイルを「ゴミ箱」に入れ、「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」をクリックしてください。**

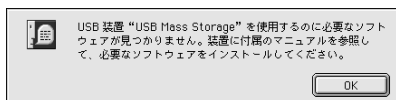
Macintosh

トラブルシューティング

正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（64ページ参照）。
動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は次の表を見て、症状に対応するページを見て対処してください。

分類	症　状	
接続・画像閲覧	カメラをパソコンに接続したとき、“ 必要なソフトウェアが見つかりません ”または“ 必要なドライバが使用できません ”と表示されます。	85
	USB接続したときに、MacOSの「ディスクの初期化」が表示されました。	86
	スマートメディアのアクセスの際、パソコンがハングアップします。	
	カメラをパソコンに接続しても、リムーバブルドライブ・アイコンを表示しません。	
	カメラからスマートメディアまたはUSBケーブルを取り外したときに警告メッセージが表示されました。	
インターネット	「画像ネットサービス」にログインできません。	87
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。	
	インターネットメニューがうまく更新できません（ボタンがきれいにならびません）。	
	FinePixViewerのアップロードダイアログが表示されません。	
	FinePixViewerのアップロードダイアログ操作中に「メモリが足りません。処理を中止します」が表示されました。	
その他	VideoImpressionのキャプチャ画面にライブ画像が表示されません。	88
	カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。	
	FinePixViewerが自動的に起動するのを止めたいのですが。	

接続・画像閲覧に関するトラブルシューティング

■カメラをパソコンに接続したとき、“ 必要なソフトウェアが見つかりません ”または“ 必要なドライバが使用できません ”と表示されます。

確認してください	こうしてください
ソフトウェアはインストールされていますか？	コンピュータにソフトウェアをインストールしてください。

■USB接続したときに、MacOSの「ディスクの初期化」が表示されました。

確認してください	こうしてください
スマートメディアはフォーマット済みですか？	カメラのUSB接続を外して、カメラでフォーマットしてください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。
File Exchangeを有効にしてください。詳しくは65ページをご覧ください。	
他のスマートメディアを使用してください。 ☞File Exchangeが取り扱えないサイズのスマートメディアであり、MacOSでは使用できません。	

■スマートメディアのアクセスの際、パソコンがハングアップします。

確認してください	こうしてください
ソフトウェアはインストールされていますか？	コンピュータにソフトウェアをインストールしてください。

■カメラをパソコンに接続しても、リムーバブルドライブ・アイコンを表示しません。

確認してください	こうしてください
カメラ（クレードル）の電源は入っていますか？	カメラの電源をONにしてください。クレードルをご使用の場合は、クレードルにACパワーアダプターを接続し、「⏻」ボタンを押してください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。
カメラにスマートメディアは挿入してありますか？	カメラにスマートメディアを挿入してください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。
カメラのUSBの設定は“カードリーダー”ですか？	カメラのUSBの設定を「カードリーダー」に切り替えてください。詳しくはカメラの使用説明書「PC接続編」をご覧ください。
専用USBケーブルはカメラ（クレードル）とパソコン本体に接続されていますか？	専用USBケーブルの一端がカメラ（クレードル）に、もう一端がパソコン本体に接続されているか確認してください。
対応したOSをお使いですか？	MacOS8.6〜9.1でお使いください（Mac OS Xには対応しておりません）。
Mass Storage Driverは有効になっていますか？	機能拡張マネージャなどで「USB04CB_Storageshim」「USB04CB_ StorageDriver」を有効に設定して再起動してください。

■カメラからスマートメディアまたはUSBケーブルを取り外したときに警告メッセージが表示されました。

確認してください	こうしてください
カメラがドライブとしてマウント中にもかかわらずスマートメディアまたはUSBケーブルを取り外しませんでしたか？	この操作により、スマートメディアおよびデータが壊れる可能性があります。カメラ（リムーバブルディスク）からスマートメディアまたはUSBケーブルを取り外す前に、必ずドライブを選択し「特別」メニューの「取り出し」を選択してください。またはドライブを「ゴミ箱」にドラッグ＆ドロップしてください。

インターネットに関するトラブルシューティング

■「画像ネットサービス」にログインできません。

確認してください	こうしてください
インターネット接続できますか？	パソコンの環境をチェックしてください。
「画像ネットサービス」がメンテナンス中ではありませんか？	メンテナンスが終わってからログインしてください。
ユーザー登録は完了していますか？	FinePixViewerのユーザー登録ボタンをクリックして、「画像ネットサービス」にユーザー登録してください（74ページ参照）。

■「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。

確認してください	こうしてください
同じメールアドレスですでに登録していませんか？	同じユーザーIDあるいはメールアドレスで2回登録することはできません。

■インターネットメニューがうまく更新できません（ボタンがきれいにならびません）。

こうしてください
メニューのデータが破損しています。以下の手順でメニューを更新してください。 ①FinePixViewerを終了します。 ②「システムフォルダ」→「初期設定」の順にダブルクリックして、「初期設定」フォルダを開きます。 ③「初期設定」フォルダにある「FinePixInternetFiles」フォルダを削除します。 ④FinePixViewerを起動して、「更新」ボタンを押してください。

■FinePixViewerのアップロードダイアログが表示されません。

確認してください	こうしてください
システムのメモリが不足していませんか？	①他の起動中のアプリケーションを終了してください。 ②「コントロールパネル」→「メモリ」で仮想メモリを増やし、パソコンを再起動してください。

■FinePixViewerのアップロードダイアログ操作中に「通信中に異常が発生したため、処理を中止しました。」が表示されました。

こうしてください
以下の手順でメモリ割り当てを増やしてください。 ①アップロードダイアログを閉じ、FinePixViewerをインストールしたフォルダにある「UpLoad」ファイルを選択します。 ②「ファイル」メニュー→「情報を見る」をクリックすると、「FinePixViewer情報」が表示されます。 ③「メモリ必要条件」の「使用サイズ」を増やしてください。

その他のトラブルシューティング

■VideoImpressionのキャプチャ画面にライブ画像が表示されません。

確認してください	こうしてください
カメラ（クレードル）の電源は入っていますか？	カメラの電源をONにしてください。クレードルをご使用の場合は、クレードルにＡＣパワーアダプターを接続し、「⏻」ボタンを押してください。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。
カメラのＵＳＢの設定は「ＰＣカメラ」ですか？	カメラのＵＳＢの設定を「ＰＣカメラ」に切り替えてください。詳しくはカメラの使用説明書「ＰＣ接続編」をご覧ください。
専用ＵＳＢケーブルはカメラ（クレードル）とパソコン本体に接続されていますか？	専用ＵＳＢケーブルの一端がパソコン本体に、もう一端がカメラ（クレードル）に接続されているか確認してください。
対応したＯＳをお使いですか？	MacOS8.6～9.1でお使いください（Mac OS X には対応しておりません）。
PC CAMERA Driverは有効になっていますか？	機能拡張マネージャで「USB04CB_VcShim」「USB04CB_VcDriver」を有効に設定して再起動してください。
他の映像入力用機器が選択されていませんか？	「USB PC Camera」を選択してください。映像入力用機器の選択方法はアプリケーションの説明書をご覧ください。
他のアプリケーションがライブ画像を表示していませんか？	他のライブ画像を表示しているアプリケーションを終了させてください。
ライブ画像表示中にＵＳＢケーブルを抜いたり、カメラ（クレードル）の電源を切ったりしませんでしたか？	アプリケーションを終了してパソコンを再起動してください。正しく接続されているか確認してから、カメラ（クレードル）の電源を入れてください。

■カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。

確認してください	こうしてください
「DCIM」フォルダの中のフォルダの名前やファイル名を変更していませんか？	「DCIM」フォルダの中のフォルダの名前やファイル名をもとに戻してください。
「DCIM」フォルダの中の画像ファイルを上書きしていませんか？	「DCIM」フォルダの中の画像ファイルは上書きしないでください。

■FinePixViewerが自動的に起動するのを止めたいのですが。

こうしてください
以下の2種類の方法でFinePixViewerは自動で起動しなくなります。 ●Exif Launcherの設定を変更する ①FinePixViewerの「設定―Exif Launcher 設定」メニューを選択して、「再起動時にExif Launcherを起動しない」をクリックします。 ②再起動します。 ＊元に戻す場合は、同様の手順で「再起動時にExif Launcherを起動する」にチェックを入れ、再起動します。 ●Exif Launcherを外す ①FinePixViewerの「設定―Exif Launcher 設定」メニューを選択して、「Exif Launcherを直ちに終了する」にチェックを入れます。 ②「システムフォルダ」→「起動項目」→「Exif Launcher」を「ゴミ箱」に入れてください。 ③「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」を選択してください。 ＊元に戻す場合は、ソフトウェアを再インストールしてください。